

家庭教育支援等のニーズ調査について
(報告)

平成26年2月21日

松戸市公民館運営審議会

はじめに

松戸市公民館運営審議会は、平成24年7月11日に公民館長から「家庭教育支援等のニーズ調査について」というテーマで諮問を受けました。

前回の公民館運営審議会では、平成22年度から23年度にかけて「家庭教育学級の今後のあり方について」の諮問を受け、平成24年2月14日付けで答申しております。そのなかで、家庭教育学級の改善に向けた対応策として優先的に実施すべき事項に『ニーズの把握』が挙げられています。「アンケート調査や聞き取り調査などを実施し、家庭教育学級の受講対象者の要望や社会の要請を把握し、学習内容に反映する。特に、学級未受講者の保護者のニーズの把握に努める」というものでした。

これを受けて、市内小学校の保護者を対象にアンケート調査を実施することとし、あわせて学校現場の意見を把握するために、教職員に対しても調査を行うこととしました。

当審議会では、アンケート内容、設問、選択肢等及び表現方法などについて詳細に議論し、平成25年7月に調査を実施しました。その集計結果をもとに、保護者や教職員の意識について確認するとともに、今後の家庭教育学級及び松戸市の家庭教育支援策の方向性について討議を行った結果です。

私たちの報告が、保護者をはじめとした市民の方々、教職員の方々の参考になるとともに、今後の公民館事業の効果的な実践に役立つことを期待しています。

平成26年2月21日

松戸市公民館運営審議会
委員長 松田 友義

平成25年度「家庭教育支援等」に関する調査について

小学生の保護者を対象に、子どもの教育に対する意識やどのような支援策を必要としているのかを調査するために、松戸市立の全小学校44校に対してアンケートを実施した。(別添アンケート用紙 「家庭教育支援等に関する調査」【保護者用】および「同」【教員用】を参照)

調査は、各校の1学年から6学年までの全学年で1クラスを抽出し、その保護者に対してアンケート用紙を配布した。また、教員用については、学校長を除く全教員に配布し、下記のと通りの回収率であった。

- ① 調査期間 平成25年7月1日～12日
- ② 対 象 小学校44校の保護者(全学年から1クラス抽出)
小学校の教員(学校長を除く)
- ③ 回 収 率

	配 布 数	回 収 数	回 収 率
保 護 者	8, 5 0 9	7, 1 2 7	8 3 . 8 %
教 員	1, 0 6 3	7 8 7	7 4 . 0 %

次ページ以降に【保護者用】および【教員用】アンケートの設問に対する回答状況を説明する。

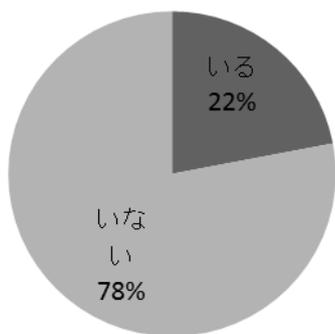
なお、各設問の回答における「その他」等の自由記述については、可能な限り記載した。

平成25年度「家庭教育支援等に関する調査」集計結果（保護者用）

◇有効回答数：7,127（※グラフの<n=>は設問ごとの有効回答数）

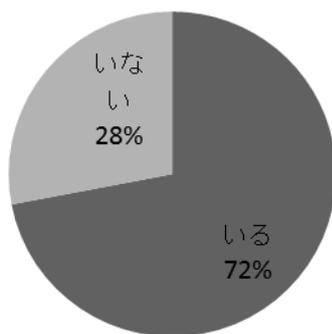
問1 子どもの教育に関する意識についてお尋ねします。次の項目それぞれ「いる」、「いない」のいずれかに☑をつけてください。

a. 子どもの教育に悩み、不安や孤立感を感じている



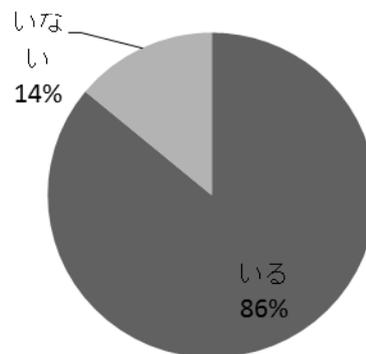
n=7050

b. 子どもの教育に必要な知識や意欲を有している



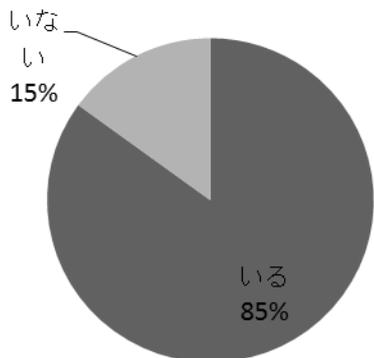
n=6982

c. 家族で協力しながら子どもの教育ができています



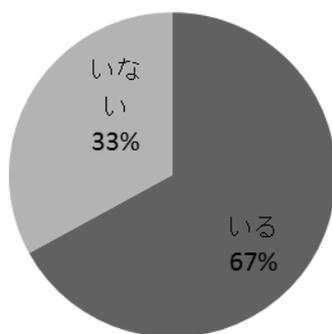
n=7045

d. 学校と協力しながら子どもの教育ができています



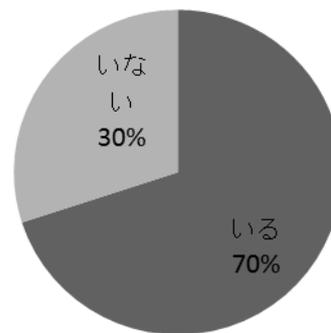
n=7018

e. 地域とつながりながら子どもの教育ができています



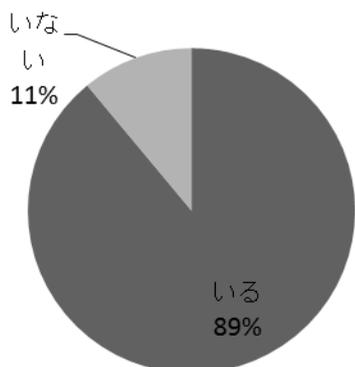
n=7009

f. 子どもの教育に関して必要な情報を入手できています



n=7008

g. 子どもの教育に関して身近な相手と相談できています



n=7048

子どもの教育に悩み、孤立感を感じている保護者は少ない（22%）。ほとんどの保護者は、教育に必要な知識を有していると考え、家族や学校・地域との関係もできていると感じている。

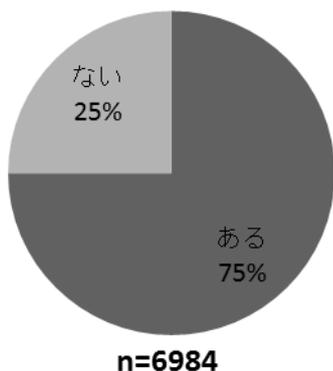
この結果だけを見れば、さほど保護者は教育に困っていないのではないかという印象があるが、後ほど述べる教員の調査結果と比較すると大きく差がある。教員から見た「悩みや不安、孤立感がある」と感じる保護者の割合は60%であった。

設問のし方が直接過ぎて、「いる」と回答した人が少なかったのかも知れない。

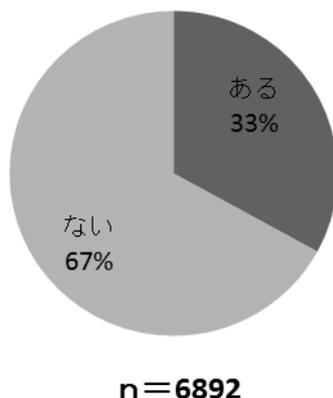
ただ、実際にbの「教育に必要な知識がない」（28%）、fの「必要な情報を入手できていない」（30%）等の本来支援すべき人たちは存在する。

問2 子どもの教育に対して関心のあることは次のいずれですか。次の中から3つを選び☑をつけてください。

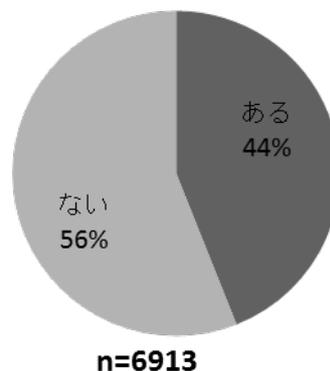
a. 学力向上



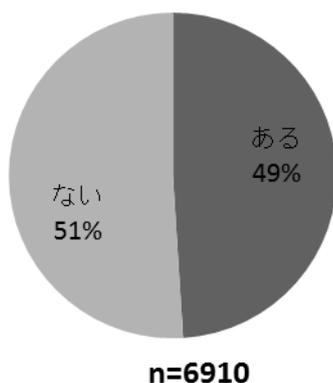
b. 体力向上



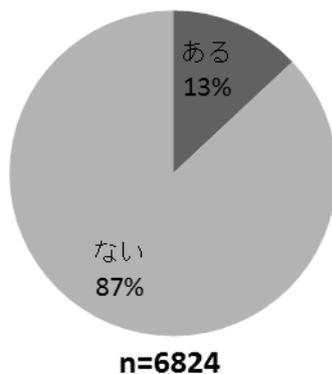
c. 健康



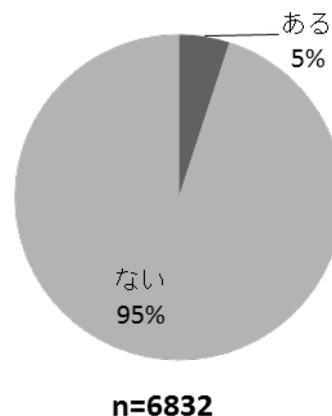
d. しつけ



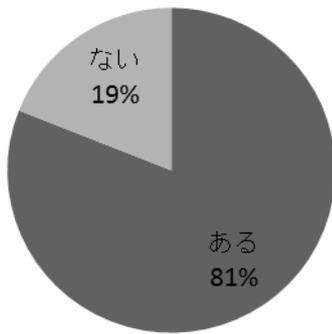
e. 進学



f. 非行

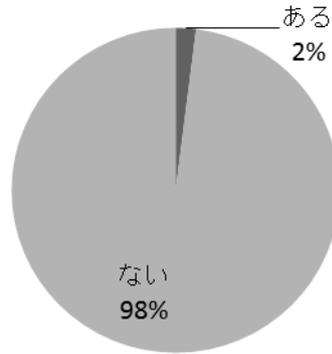


g. 友達関係 (遊び・いじめ
など)



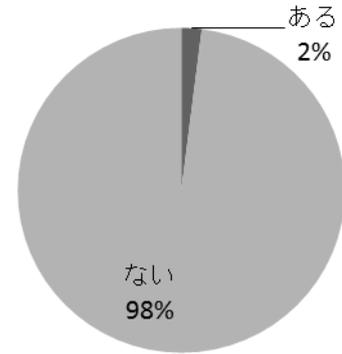
n=6968

h. 子どもが学校生活になじ
めない



n=6811

i. その他



n=6806

※問2 その他回答者

- ・ 集団生活を身につける…8人
- ・ 教員の指導方法…7人
- ・ コミュニケーション力…7人
- ・ 先生との信頼関係…6人
- ・ 基本的な生活習慣や生活力…6人
- ・ 自己肯定力…4人
- ・ 自立、自律…4人
- ・ 心の教育 (道徳など) …4人
- ・ 先生と子供の信頼関係…4人
- ・ 勉強や運動に限らず子どもの特技を生かせる活動…3人
- ・ 部活動や委員会活動…3人
- ・ 好奇心や意欲を持たせること…3人
- ・ 学校で楽しく過ごさせているか…3人
- ・ 生きる力を身につけること…3人
- ・ 心の発達…2人
- ・ 食育…2人
- ・ 習い事との両立 (部活が始まったため) …2人
- ・ 国際感覚…2人
- ・ 進路、将来…2人
- ・ 人に対する思いやりや気づかい…2人
- ・ その子らしく生活できているかどうか…2人
- ・ 子供の長所を伸ばし、将来につなげるために今何をさせるのが良いのか…1人
- ・ 優しい子に育つよう、楽しく生活できるよう…1人
- ・ EQ…1人
- ・ 金銭感覚、価値観…1人

- ・集中力…1人
- ・発達の遅れによるハンディキャップ…1人
- ・家事力…1人
- ・親子関係…1人
- ・メンタル面…1人
- ・子どもがクラスになじめない…1人
- ・不登校…1人
- ・他人に迷惑をかけない、安全教育…1人
- ・教育費用（お金）…1人
- ・人間力の育成…1人
- ・リーダーとしての資質の向上…1人
- ・個性…1人
- ・英語教育…1人
- ・友達の親の教育に対する考え方や態度…1人
- ・日本文化を学ぶこと…1人

gの「友達関係」（81%）とaの「学力向上」（75%）に親の関心が高い。

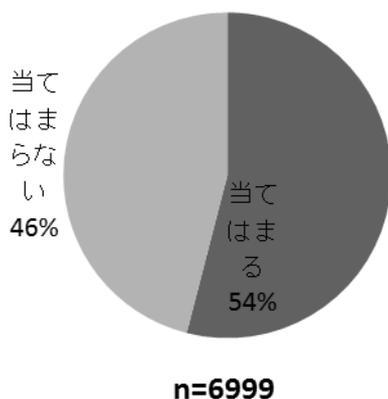
続いて、dの「しつけ」（49%）、cの「健康」（44%）の順であった。

「友達関係」が多かったのは、‘いじめ’というキーワードに反応があったことも考えられるが、保護者の関心として子どもの交友関係に対して関心が深いことは当然である。

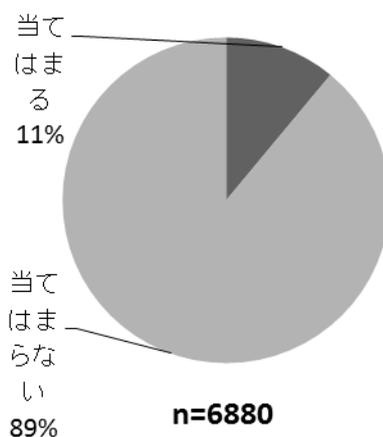
また、「その他」の回答に40項目以上の内容が挙げられ、特に子どもの長所、個性を伸ばすような項目が多く挙げられていた事は特記すべきである。

問3 子どもの教育に関する必要な知識を、どのように習得していますか。次の当てはまるものすべてに☑をつけてください。

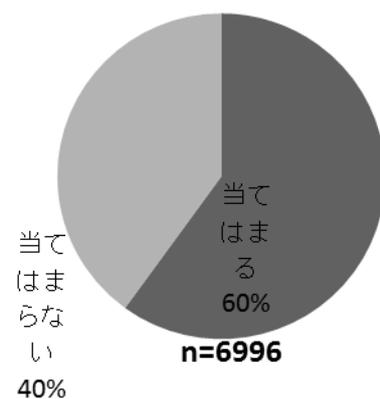
a. 学校の先生



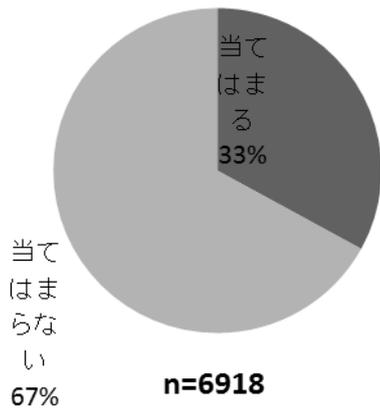
b. 公共や民間の講座・セミナーなど



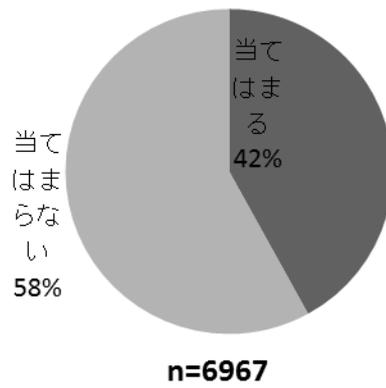
c. 新聞記事・テレビ番組など



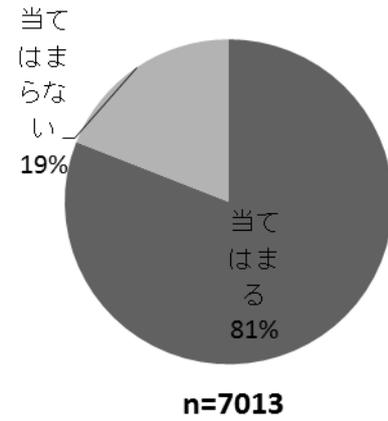
d.書籍



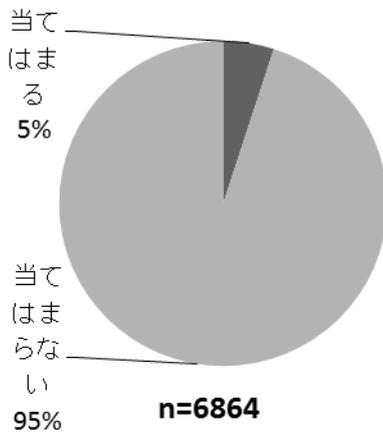
e.親や親戚



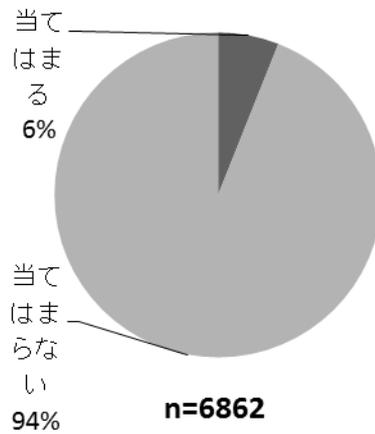
f.友人・知人との情報の交換



g.特に学習していない



h.その他



※問3 その他回答者

- ・インターネット…245人
- ・塾の先生…61人
- ・通信教育…31人
- ・自身の経験…16人
- ・習い事の先生…7人
- ・医師・看護師…5人
- ・家庭教育学級…4人
- ・自分の学生時代の知識…3人
- ・職場…3人
- ・SNS…2人
- ・人生全てから…2人
- ・幼稚園の先生…2人
- ・学童…2人

- ・親の会…1人
- ・教会…1人
- ・保健士と定期的に連絡を取っている…1人
- ・地域の教育講座…1人
- ・学校のママ学級…1人
- ・学習DVD…1人
- ・親の常識内…1人
- ・療育施設…1人
- ・ブロ友…1人
- ・NPO まつど…1人
- ・ラジオ…1人
- ・教育研究所…1人

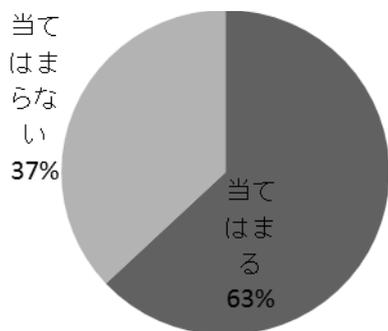
子どもの教育に関する知識は、友人・知人からの情報が圧倒的であり、8割以上を占めている。この結果から子どもの教育、知識の習得・獲得においては、地域における仲間作りが重要となってくるものと考えられる。しかしながら、学校や社会教育が信頼に足る教育・啓蒙活動をしなければ、知識の情報交換でなく噂の情報交換になることが懸念される。ここにも松戸が行っている家庭教育学級の意義が見えると思う。

その他では、cの「新聞記事、テレビ番組など」の項目が最も多く、さらに「その他」の項目でインターネットによる習得が多く挙げられていた。一方、書籍を用いた情報習得の割合は低い回答率であった。このことから、現在の保護者は、新聞・テレビ・インターネットなどから多くの情報を得ていることが伺える。f「友人・知人との情報の交換」にしても、SNS等のインターネットを利用した情報交換が多いのではないかと懸念される。情報発信にあたっては、これらのメディア、特にインターネットを活用することが必要であろう。

aの「学校の先生」は約半数と意外に少ないが、これは学校からの情報発信量が少ないためと思われる。今後、教職員の研修の充実とともに学校からの情報発信を増やしていかなければならない。

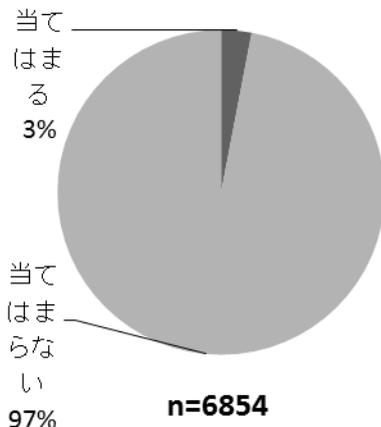
問4 子どもの教育に関する相談を誰（どこ）にしますか、もしくはしようと思いますか。次の当てはまるものすべてに☑をつけてください。

a. 学校の先生



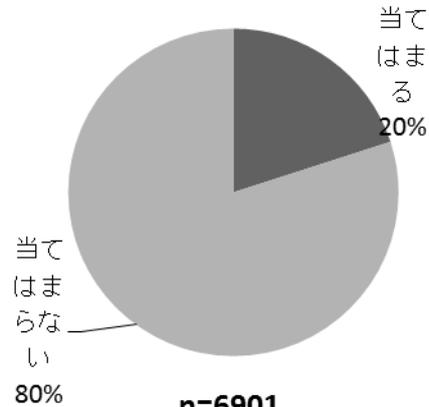
n=7013

b. 教育委員会や市役所



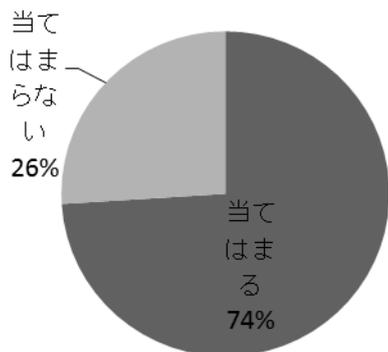
n=6854

c. 塾や教育の専門家（機関）



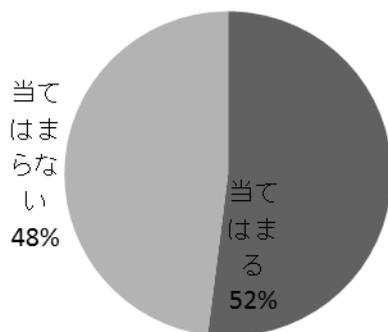
n=6901

d. 配偶者



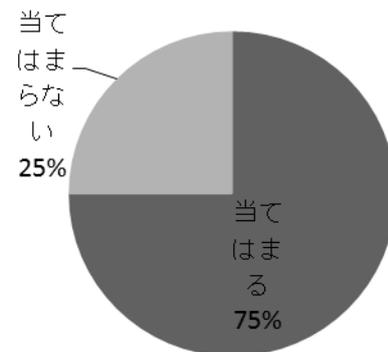
n=7021

e. 親や親戚



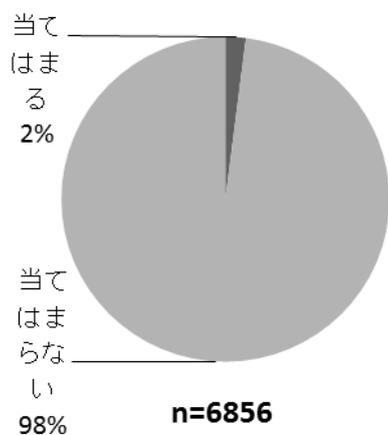
n=6988

f. 友人・知人



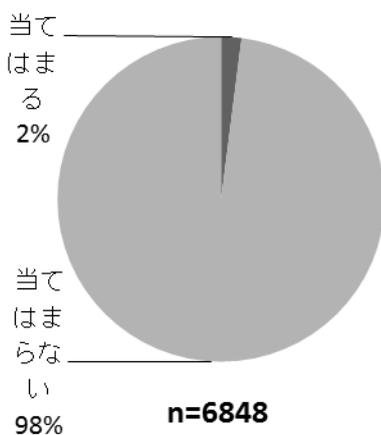
n=7035

g. 特に相談しない



n=6856

h. その他



n=6848

※問4 その他回答者

・インターネット…13人

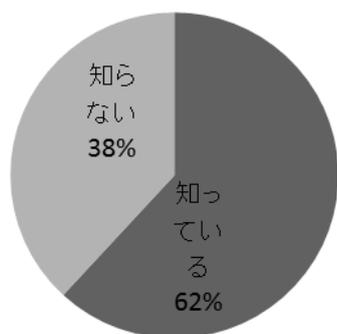
- ・親の兄弟…12人
- ・病院…9人
- ・学童の先生…9人
- ・塾の先生…4人
- ・地域…3人
- ・幼稚園の園長や主任…2人
- ・保健士…2人
- ・親の会…1人
- ・子供の将来の夢に近い仕事をしている人…1人
- ・発育センターの先生…1人
- ・同僚…1人
- ・ブロ友…1人
- ・ファミリーサポート…1人
- ・保育園(担任)の先生…1人

問3の教育に必要な知識の習得先と同様に、身近な友人・知人に相談する保護者が多い。しかし、問1で見たとおり「悩みや不安、孤立感を感じている」保護者が少ないので、ここでの相談内容についてはあまり深刻なものではないと推測される。

a「学校の先生」がc「塾や専門機関」の3倍以上になっていることから、問3同様、教師はどんな相談にもきちんと応じられる資質・力量を身につけなくてはならない。

ただ、保護者の相談先として知人・友人が先生より高いのは、多くの場合、学校の先生は勤務時間内での相談に限られることが原因であることも考えられる。

問5 あなたは、保護者が主体となって子どもの教育に関する仲間づくりや学習活動を行う「小学校家庭教育学級」があることを知っていますか。



n=7089

各学校では、色々な工夫をして家庭教育学級についてお知らせしているにもかかわらず、「知っている」という回答が62%というのは、決して高くない。

認知度が低いのでまず、ここを上げないことには「家庭教育学級」自体が広がってこない。知るといふこと、特に正しく知っていただくこと。何のために、どういう効果を期待してやっているのかということ保護者に周知することが重要である。

そのために、学校と社会教育との連携の視点、また、松戸市の家庭教育学級の特徴を考えると、学校がもっと教職員に周知し、保護者会や学級懇談会等で趣旨や内容を伝えることに力を入れる必要を感じる。ホームページの活用や通知（チラシ）に関しても、ビジュアル的に保護者世代の人たちが目に入ってきやすい工夫は必要である。

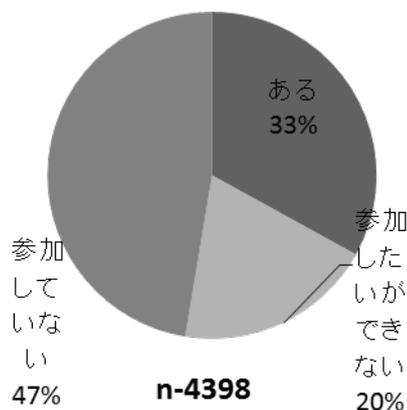
家庭教育学級の認知率で38%の人が、家庭教育学級を知らないと答えている。

どのような人が、認知していないかについて、プロビットモデル(※注)による推計を行った結果、「教育について知識がないと感じている人」、「教育に関する情報を得られていない人」など、家庭教育学級で本来支援すべき人たちの認知率が低い。また、働いている人や、経済的に苦しい人なども認知率が低い傾向にある。

また1～2年生は、情報に触れる機会が少ないためなのか認知率が低くなる傾向にある。

以上のことから、家庭教育学級の制度は、本来支援すべき人たちの認知が低く、そういった人たちの認知を高めなければならない課題が見える。

問6 問5で「知っている」と答えた方にお聞きします。小学校家庭教育学級に参加したことはありますか。次のいずれかひとつに☑をつけてください。



※注

プロビットモデルや多項ロジットモデルを含む離散選択モデルは、いくつかの限られた選択肢の中から1つが選ばれる事象についてその要因を分析するときによく用いられる統計的手法である。プロビットモデルは、喫煙するかしないかのように選択肢が、0か1の2択の時に用いられる。多項ロジットモデルは、東京から大阪までの交通手段(新幹線・飛行機・バス)のように、複数の選択肢から1つが選択され、その選択肢に順序付けができない時に用いられる。

家庭教育学級を知っている割合が 62%で、実際に参加したことがある割合は 33%。つまり、実際に参加できている保護者は約 2 割に過ぎず、多くの保護者は、知らない、または、参加できない状況にあることが明らかとなった。

家庭教育学級を知っている人たちのうち、どのような人が「参加する」、「参加したいができない」、「参加しない」のどれを選びやすいのかについて、多項ロジットモデル(※注)により分析した。その結果、

①教育に不安のある人、家族と協力して教育ができていない人が、参加したがる傾向がある。

⇒認知さえしていれば、本来参加すべき人の関心は高い

②地域と協力して教育ができていない人が参加しにくい。

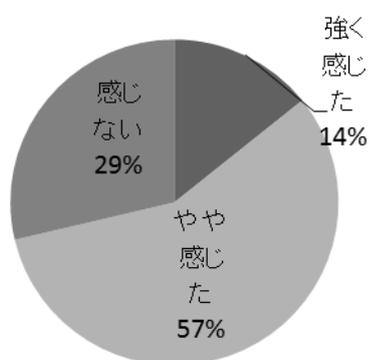
⇒地域とのつながりがない人は、人づきあいが苦手なため、参加しにくい。

③また、経済的に苦しい人、働いている人は、参加しにくい。

以上から、参加すべき人の関心は高いが、働いている人たちも参加できる日程にするなど、調整が必要だろう。

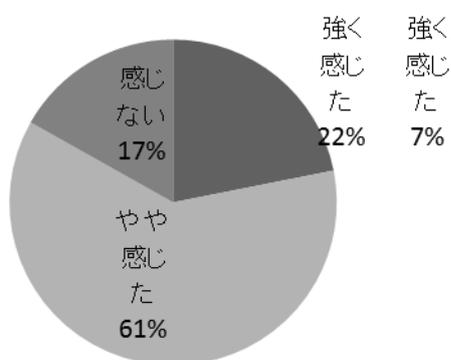
問7 問6で「ある」と回答した方で学級が行う学習会等に参加して、子どもの教育に関してどのような効果を感じましたか。次の「a～g」それぞれについてお答えください

a)悩みや不安、孤立感がなくなった。



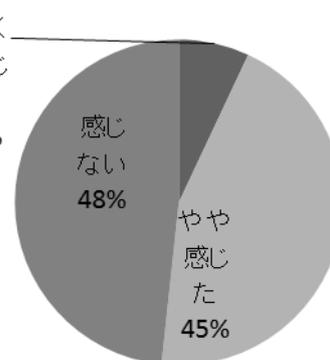
n=1577

b)必要な知識や意欲をえられた。



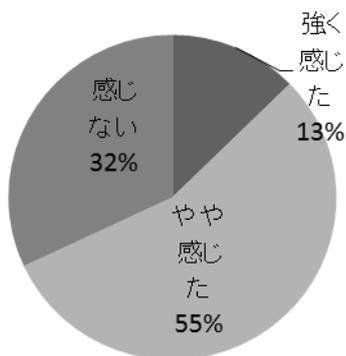
n=1578

c)家族で協力しながらできるようになった。



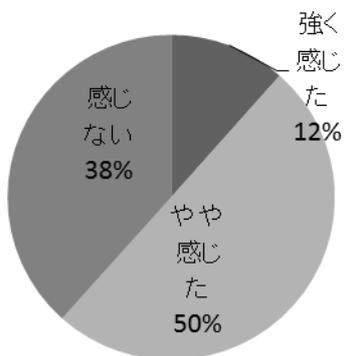
n=1572

d)学校と協力しながら
できるようになった。



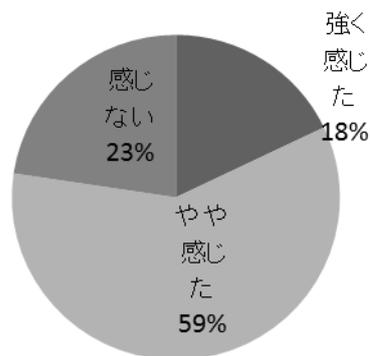
n=1575

e)地域とつながりを持ち
ながらできるようになった



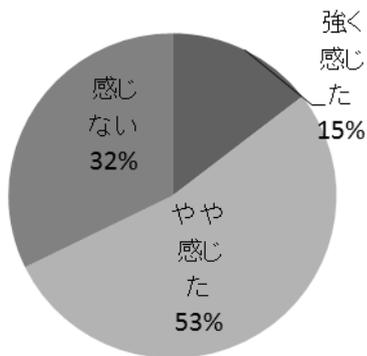
n=1573

f)必要な情報を入手で
できるようになった。



n=1577

g)身近な相手に相談で
できるようになった。



n=1574

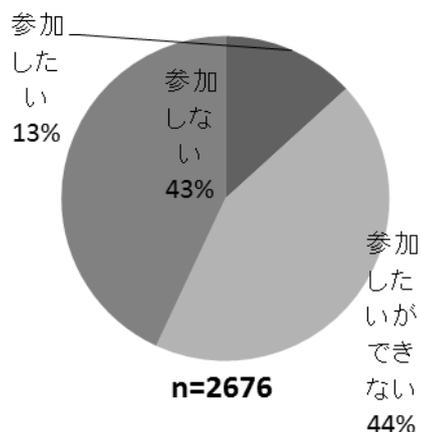
参加した保護者は、おおむね効果があったと回答している。「知識や意欲の獲得」、「家族、仲間への相談ができた」、また「地域とつながりを持てた」という有効な成果をあげている。

家庭教育学級の開設の目的は「学びあい」と「仲間づくり」である。この設問で見ると「学びあい」はbとf、「仲間づくり」はaとe、gである。このことは家庭教育学級の成果である。

今後の課題として、まず認知度を向上させること、次いで参加率を上げることに、より重点をおいて検討する必要がある。

問8 問5で「知らない」と回答した方にお聞きします。小学校家庭教育学級とは、以下の取り組みのことです。あなたは、これを読んで家庭教育学級に参加したいと思えますか。

(※家庭教育学級の説明については、巻末の【保護者用】アンケートの問8を参照してください。)



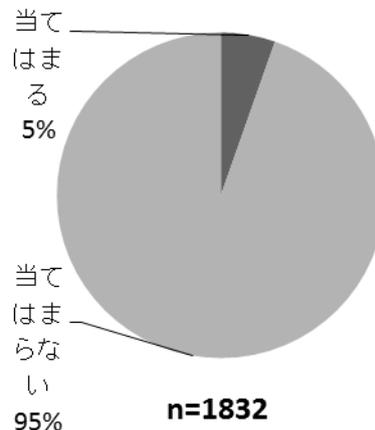
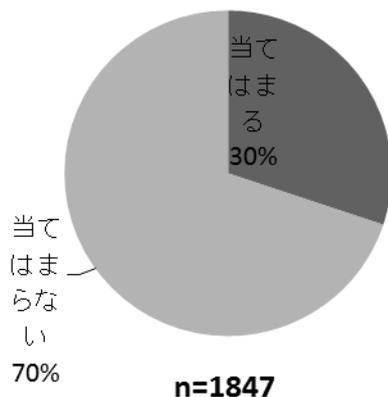
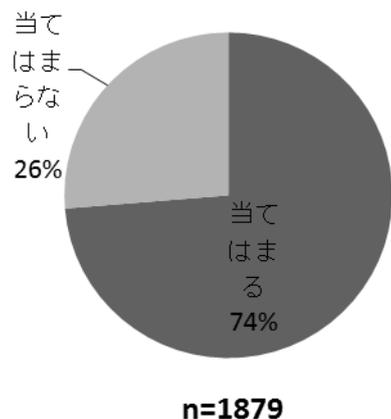
家庭教育学級を知らないと応えた人のうちの13%、全体に換算すると約5%が「参加したい」という回答をしていることから、更に家庭教育学級の広報活動の必要性を感じる。

問9 問6または問8で「参加したいができない」と回答した方の理由を伺います。次の当てはまるものすべてについて☑をつけてください。

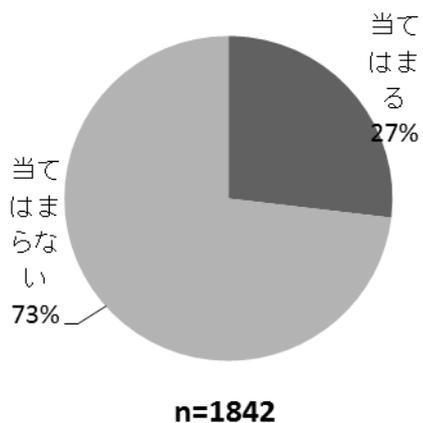
a) 仕事で忙しい

b) きょうだいの育児で忙しい

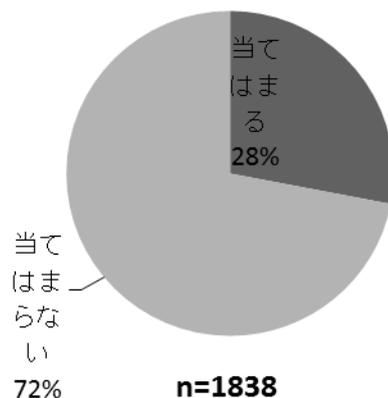
c) 介護など家庭のことで忙しい



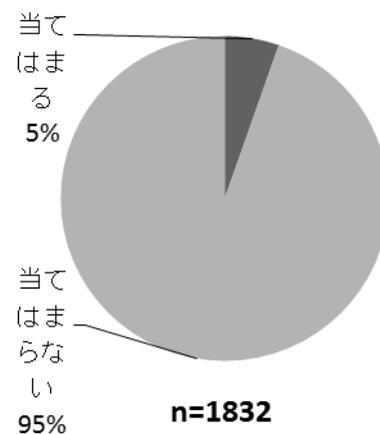
d) 開催する曜日が合わない



e) 開催する時間帯が合わない



f) その他



※問9 その他回答者

- ・私が病気のため…14人
- ・開催日、時間が分からない…6人
- ・不特定に用があるので…6人
- ・外国人だから言葉がわからない…6人
- ・仕事の関係で…5人
- ・学級長、運営員等、前に出るのが苦手…4人
- ・くわしい内容が不明…4人
- ・内容がよく分からない…3人
- ・妊娠中なので…3人
- ・療養中…2人
- ・ひとり親なので平日は仕事のため土日なら参加できる…2人
- ・子どもだけの参加ならぜひ頼みたいのですが、親も一緒になると難しい…2人
- ・入学したばかりでまだ良くわかっていない…1人
- ・仕事以外の習い事の役員の仕事等…1人
- ・引っ越してきたばかり…1人
- ・習い事…1人
- ・ゆとりがない…1人
- ・打ち合わせ等の後に必ずランチ等にみんなで行くという噂を聞いた…1人
- ・すでにあるグループに参加しづらい…1人
- ・目的が不明確…1人
- ・金銭的…1人
- ・友人と一緒に参加したいが都合をつけるのがむずかしい…1人

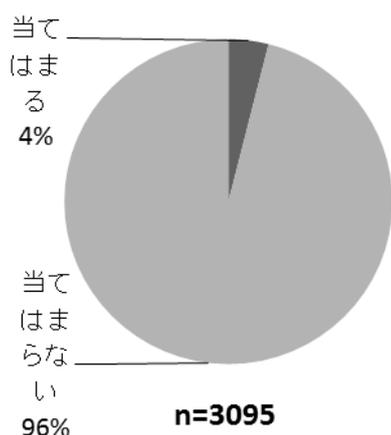
aの「仕事で忙しい」が74%で一番多い。属性の中の「専業主婦（夫）」が40%弱ということで「共働き」が多いためと考える。

d「開催する日が合わない」、e「開催する時間が合わない」の回答が27~28%にすぎなかったのは意外な結果であった。ただ仕事の理由が一番多いことから、今後、仕事を持つ母親（保護者）のニーズにあった家庭教育学級のあり方を検討しなければならないだろう。

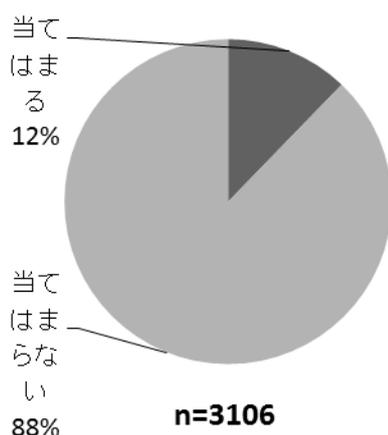
一方、「家庭教育学級」の効果あるいは、こういうことができるというのを正しく理解していないのではないか。逆にいうとそういうことをきちんと理解していただけるような情報提供をしていかなければならない。

問10 問6で「参加していない」または問8で「参加しない」と回答した方の理由を伺います。次の当てはまるものすべてについて☑をつけてください。

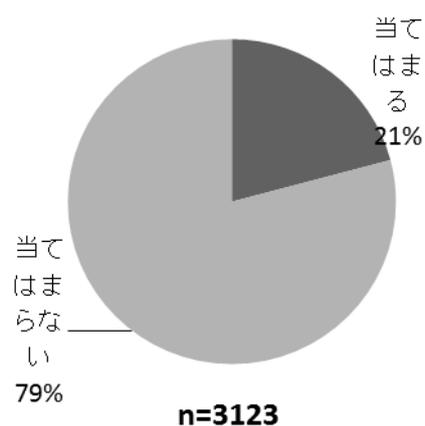
a) 十分知識を有しているため



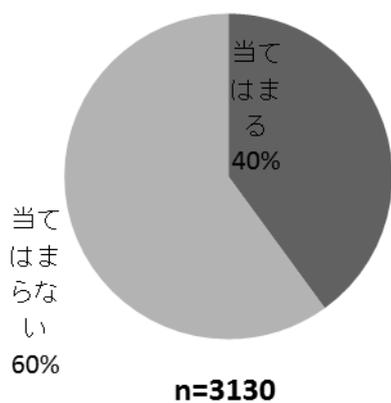
b) 効果が期待できないため



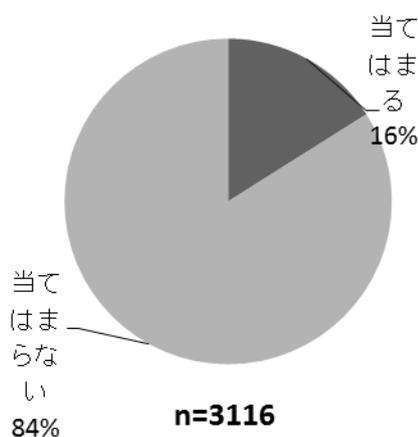
c) 人と交わることが苦手なため



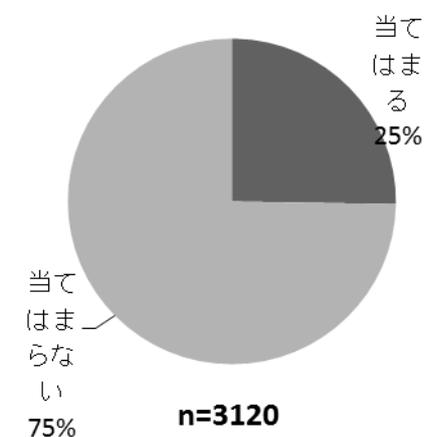
d) 興味がないため



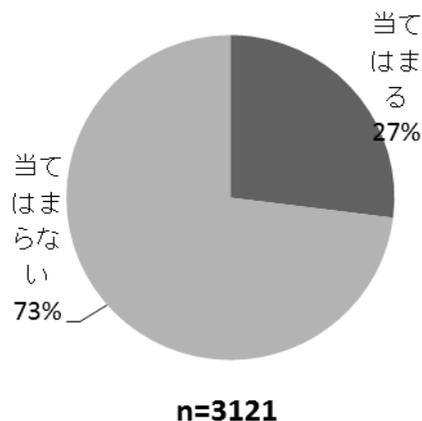
e) すでにグループがあり、参加しにくい



f) 知り合いがいないことで参加しにくい



g) その他



※問 10 その他回答者

- ・仕事があって参加できない…274 人
- ・忙しいから…157 人
- ・下の子どもがまだ小さいため…44 人
- ・開催されている日時が合わない…39 人
- ・何を目的としているのか分からない…33 人
- ・運営側の仕事をしなければならないから…26 人
- ・今のところ必要性を感じてはいない…16 人
- ・興味がない…15 人
- ・面倒だから…14 人
- ・人間関係…6 人
- ・学校のボランティア活動や係等で満足しているため…4 人
- ・興味のある内容なら参加したいと思う…4 人
- ・何となく…4 人
- ・今のところ参加したい内容が特にないため…3 人
- ・子供も参加したがる…3 人
- ・相談相手が他にいるので…3 人
- ・介護…3 人
- ・4月に登録しなかったが、参加できるなら参加したい…2 人
- ・PTA, 町会の役員で時間が取られ、これ以上の参加はできない…2 人
- ・新たな仲間作りの必要性を感じない…2 人
- ・うつ病などの精神的病気のため…2 人
- ・学級活動の効果を理解していないため…2 人
- ・家庭の事情…2 人
- ・参加した人の話をきくくらいでよい…2 人
- ・参加するタイミングをのがしているため…2 人
- ・色々な所から情報が入っているから参加しなくても大丈夫と思っている…2 人
- ・必要な知識は積極的に吸収しているので、あまり必要性を感じない…2 人
- ・別機関で興味のあるものに参加している…2 人

- ・「子供の教育に関する仲間作り」のような活動には思えなかった…1人
- ・委員決めが大変…1人
- ・意見を述べたり、話し合いをするのが苦手なため…1人
- ・忙しい時間を割くほどの魅力を感じない…1人
- ・いつ、どのようなことをやっているのか、すぐに思いつかない…1人
- ・大人向けだと思わなかった…1人
- ・親が一生懸命やり過ぎることが子供の無関心につながっているような気がする…1人
- ・親同士で仲良くする必要性を感じない…1人
- ・親の交流が目的のように見えたので…1人
- ・学校の先生より、塾の先生の方が知識が豊富だから…1人
- ・堅いイメージで参加しづらい…1人
- ・参加した方の感想が、いまひとつだったそうなので…1人
- ・保護者主体では悩みも相談できない…1人
- ・障害があるため…1人
- ・知り合いがいるのか(参加しているか) わからないため…1人
- ・税金の無駄…1人
- ・祖母が母親役をしているため親子ほど年齢の違う中に入っていけない…1人
- ・不登校で発達障害、学習障害があるため…1人
- ・保護者主体とあるが、悩み事など、その主体となっている方に知られるのも嫌だなという気持ちが少しあるため…1人
- ・わざわざ中途半端に身近な方々と個人的な教育に関する話しをしたくない…1人

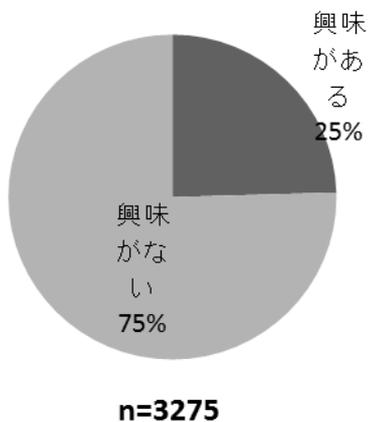
d「興味がない」と答えた人は40%、g「その他」の記述項目で、『仕事関係』と答えた人は全体の15%であった。

そのほかに、明らかに勘違いをしているとみられる記述がかなりある。家庭教育学級に対して正しく理解されていないと思われる意見として、『堅いイメージで参加しづらい』、『大人向けだと思わなかった』、『大変そう』、『何を目的にしているかわからない』などがあつた。これらの結果を勘案すると、今後は家庭教育学級の内容に関する正しく解りやすい情報提供（広報）のあり方について検討する必要がある。

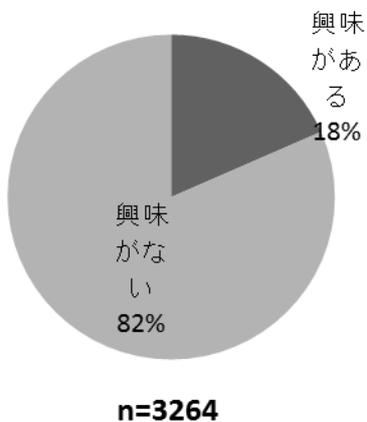
bの「効果が期待できない」という回答には、家庭教育学級の本来の目的である子育てに関する「学びあい」が見えておらず、カルチャー的なことだけをしていると誤解されているところがある。また、c「人と交わることが苦手」、e「すでにグループがあり、参加しにくい」、f「知り合いがいないことで参加しにくい」と回答した人には、家庭教育学級の目的である「仲間づくり」について理解を深めていけるよう説明していかなければならない。

問11 小学校家庭教育学級では、どのような内容を学ぶことができれば参加したくなると思いますか。次の中で興味のある内容すべてに☑をつけてください。

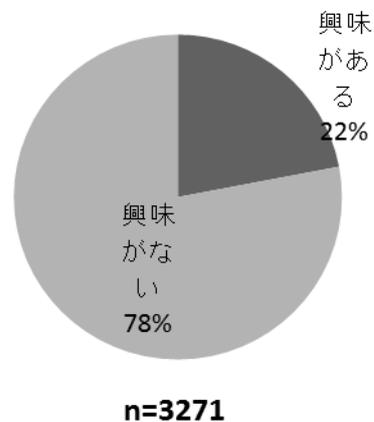
a) 学力向上や進学



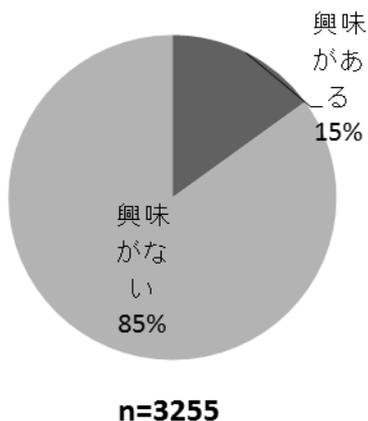
b) 子どもの体力や健康



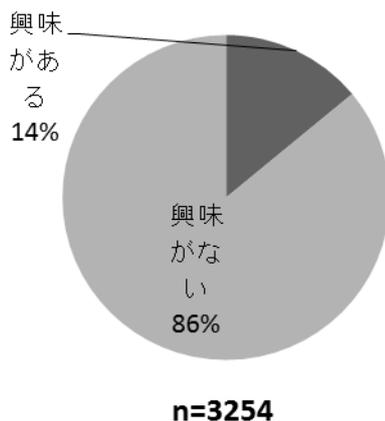
c) 子どものしつけや非行防止



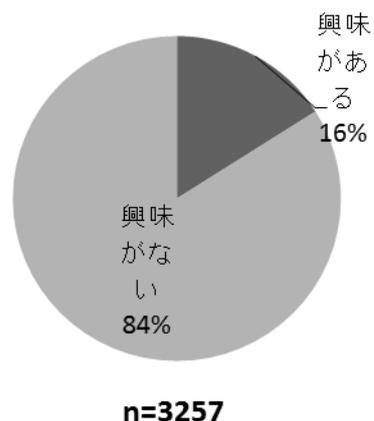
d) 親どうしの意見交換



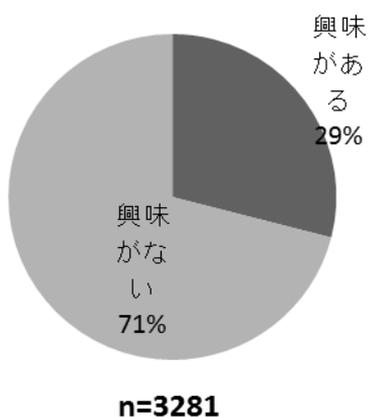
e) 悩みの相談



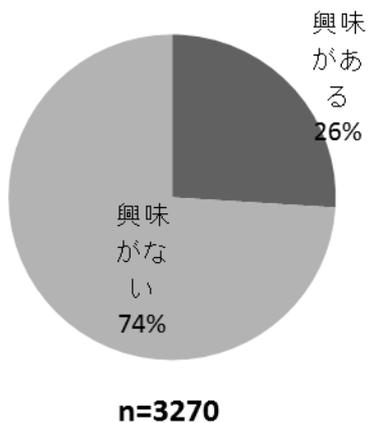
f) 親の自分力向上



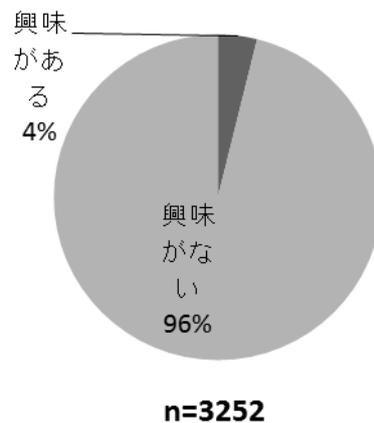
g) 体験的な学習会



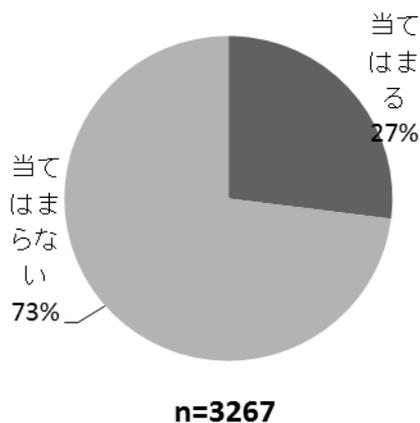
h) 親子で参加できる学習会



i) その他



j) 内容に関わらず参加した
くない



※問 11 その他回答者

- ・ 土日曜日に行ってほしい…2 人
- ・ 性教育…2 人
- ・ 自分と同じような環境や状況の人と親身に話ができれば…1 人
- ・ 社会の仕組み、年金、保険、株など…1 人
- ・ コミュニケーションアップ…1 人
- ・ 外での活動。キャンプ、公園へ行く…1 人
- ・ 内容に関わらず日程時間次第です…1 人
- ・ 子どもだけの参加…1 人
- ・ 各学校にスクールカウンセラーがほしい。保護者、子供が悩みを打ち明けられるように。悩みの相談は学校関係者じゃない人。専門、悩みを聞いてほしい。平日しかやらないので参加できない…1 人
- ・ パソコンの使い方…1 人
- ・ 子育てについて、多くの親が共通認識しておいたほうがよい内容…1 人
- ・ 楽しみながらの運動。体を動かすこと…1 人
- ・ 子育てを経験したいろいろな方の話を聞きたい…1 人
- ・ 最新の専門的知識を持っている人がいて、誰もが「いい」と言う内容が口コミで広がるくらいなら行きたい…1 人
- ・ 内容ではなくこれを実践する動機や背景がよく見えればそのコンセプトによって決める…1 人
- ・ 子供の年齢に合った本の紹介。教育に詳しいベテランの先生の子育てに関する講演会…1 人
- ・ 硬い名前や講座などという所が参加しづらい…1 人
- ・ 科学実験教室、体育教室、水泳教室（子）…1 人
- ・ グレーゾーンの子供たちの将来のことなど…1 人
- ・ 発達障害…1 人
- ・ 反抗期の接し方…1 人
- ・ ノンフィクションの映画を見せる等…1 人

- ・ モンスターペアレンツの考え方と外部（その他親へのハレーション） …1人
- ・ 吹奏楽などの音楽会 …1人
- ・ 内容ではなく体制に疑問を感じるので参加したくない …1人
- ・ 今現在の子供達の間で思っている、感じていること …1人
- ・ 道徳 …1人
- ・ 子供の興味を引く事柄 …1人
- ・ 親子で楽しみ、絆を強くする事で子供が精神的に安定できるような学習会 …1人
- ・ 具体的な効果成果が見込めるならば …1人
- ・ 他の学校と活動。同じ学校の保護者だけだと意見が偏る。世界が狭い …1人
- ・ アスペルガー学習障害 …1人
- ・ 楽しそうと思える内容 …1人
- ・ いじめ防止 …1人
- ・ 親世代の教育（学習）と現在の教育（学習）の違いなど …1人
- ・ デート DV …1人
- ・ 有識者の発するもの …1人

j 「内容に関わらず参加したくない」人が27%いる一方で、g「体験的な学習会」（29%）、h「親子で参加できる学習会」（26%）の割合も高い。現在、家庭教育学級で行われている体験学習を中心とした学習内容は、保護者の希望内容に一致するものであることを示している。

また親同士の意見交換、いわゆる「子育てサロン型の学習形態」も、今後大事になってくると思われる。お茶を飲み、菓子をつまみながら子育てについての悩みや疑問などを小グループで自由に出し合い、いろいろな人の体験や経験等を聞くことで子育てのヒントを得たり、今後の子育ての方向性を確認したりできる場として、これからも推奨したい。

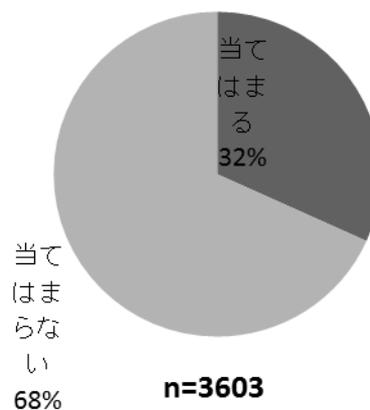
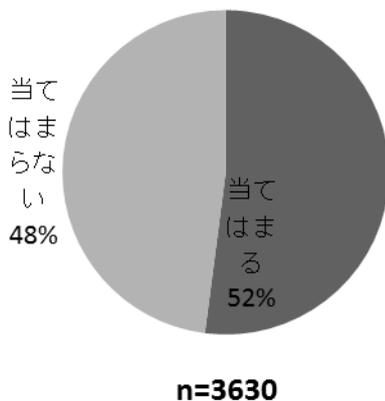
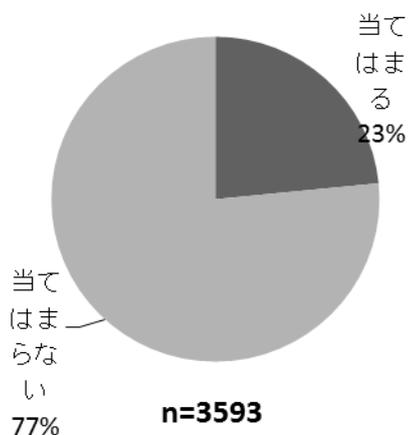
「体験的な学習会」や「親子で参加できる学習会」などできっかけづくりをし、さまざまなことを語り合える関係性をつくり（仲間づくり）、教育に関する知識や情報を得ること（学びあい）が家庭教育学級の目的である。しかし、家庭教育学級の目的である「学びあい」、「仲間づくり」の先にあるのは「自分力向上」であり、家庭教育学級に参加している人もこれから参加しようとする人も、そのために家庭教育学級で学びたいと思えるような家庭教育学級の環境にしていかなければならないだろう。

問12 小学校家庭教育学級に「参加した」あるいは「参加したいができない」と回答した方全員に伺います。次の参加理由で当てはまるものすべてについて☑をつけてください。

a) 学習が好き

b) 保護者同士のつながりが欲しい

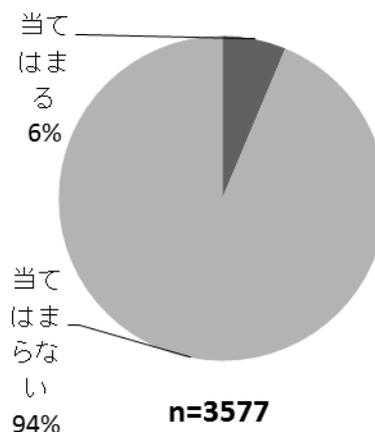
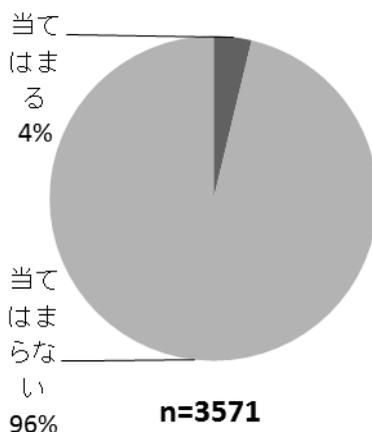
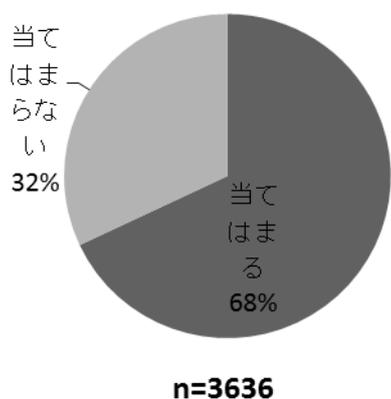
c) 異学年を持つ保護者との交流がしたい



d) 教育に関する情報が入手できそう

e) 必要に迫られて

f) その他



※問12 その他回答者

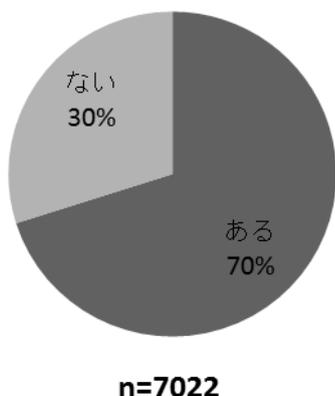
- ・楽しそう…28人
- ・友人に誘われて…19人
- ・興味があったため…18人
- ・内容に興味をひかれるから…15人
- ・子どもと一緒に参加できる企画があって楽しそうだから…9人
- ・体験したことのない事が体験できる…9人
- ・勧められたから…9人
- ・なんとなく…5人
- ・親の向上が子どもにも繋がると思うため…4人
- ・活動内容がわからないから参加した…4人

- ・参加した時は時間があつたから…3人
- ・PTA役員の参加義務によって…3人
- ・主に学校での活動だったので近くて参加しやすい。未就園児を連れていても参加OKだったため。保育がついている講座もあった…3人
- ・子供にいろいろな体験をさせたい…2人
- ・何か得るものがあると思ったから…2人
- ・知識を高めるため…2人
- ・出合いが好き…2人
- ・給食の試食会に参加したかった…2人
- ・自分力向上…1人
- ・フラダンスをやってみたかったから…1人
- ・さまざまな講習が受けられる…1人
- ・ストレス解消できる…1人
- ・親との交流はいいです…1人
- ・親が学ばなければと考えるから…1人
- ・不安な所を聞いてほしい…1人
- ・自分の悩みを解決したい…1人
- ・なかなか体験できない事が企画される…1人
- ・人生の視野を広げる…1人
- ・娘の今後が心配だから…1人
- ・外国人なのでつながりがない…1人
- ・家庭教6～7年続けています。近年親のマナーの低下もみられ、PTA役員の立場からも親が勉強して学ぶべきと強く感じています。まずは、自分が行動あるのみ…1人
- ・学校に行く用事をつくりたい…1人
- ・クラスの保護者との交流が図れるから…1人
- ・楽しそうだし、参加する保護者の方は熱心で、自分の向上にもつながりそうだったから…1人
- ・たて前が「教育に関する情報」であってもそれ以外の知識を得ることが楽しいし、結果としてつながりができる…1人
- ・周りの保護者がどのような考えを持って子どもと接しているのか知りたい…1人
- ・社会体験できる…1人
- ・子どもに関わることにはなるべく参加したいので…1人
- ・仕事をしながらだと日程をあわせられない。カルチャーセンターに行きたいが時間もお金もかかるので近くで自分の興味があるものだけ知った方と学べる…1人
- ・役員などと違い、母達で学んだり楽しみたいから…1人

参加理由として、d「教育に関する情報が入手できそう」、b「保護者同士のつながりが欲しい」、c「異学年を持つ保護者との交流がしたい」、a「学習が好き」が多かった。問7での回答と同様、保護者が子育てに関する知識や情報入手（学びあい a、d）、保護者の「仲間づくり」

(b、c) について期待していることを示しているし、これは、家庭教育学級の目的と合致している。

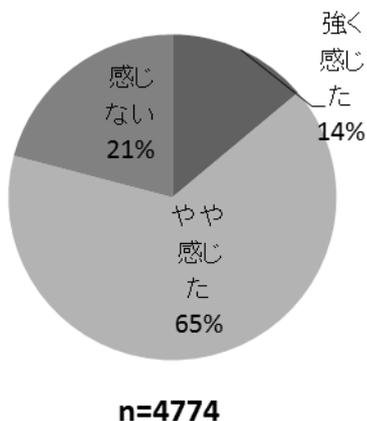
問13 あなたは、学校が開催する学習会（個人面談・教育相談を含む）等に参加したことがありますか。該当項目に☑をつけてください。



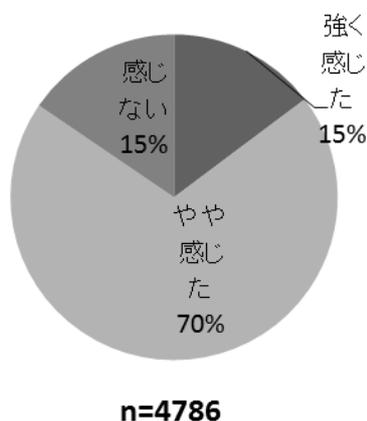
回答者に誤解があるのか、「個人面談」や「教育相談」はほとんどすべての学校で全保護者を対象として行っているため、『ある』と答えた人の割合に疑問が残る。

問14 あなたは問13の学習会等に参加して、どのような効果を感じましたか。「強く感じた」、「やや感じた」、「感じない」の該当項目に☑をつけてください。

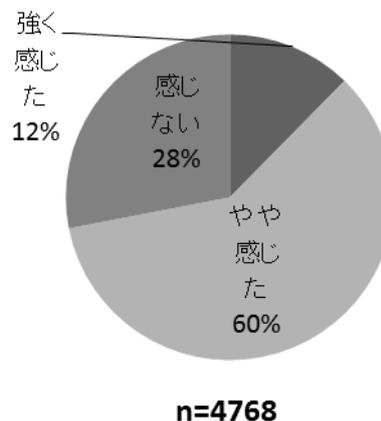
a) 悩みや不安、孤立感がなくなった。



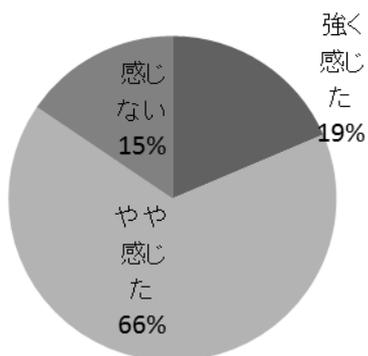
b) 必要な知識や意欲をえられた。



c) 家族で協力しながらできるようになった。

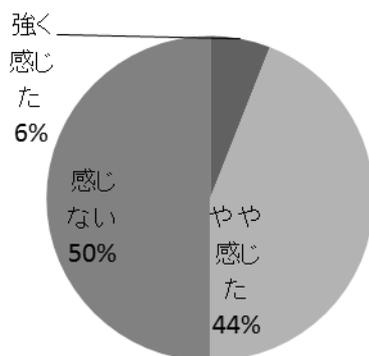


d) 学校と協力しながらできるようになった。



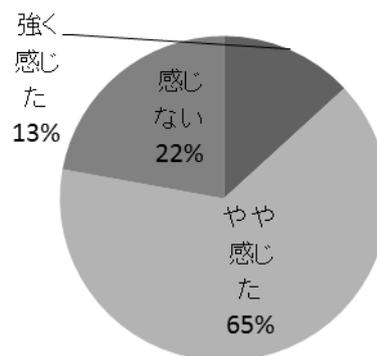
n=4791

e) 地域とつながりを持ちながらできるようになった。



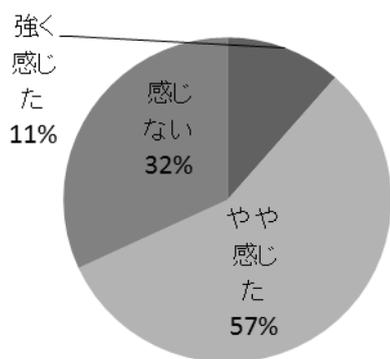
n=4757

f) 必要な情報を入手できるようになった。



n=4779

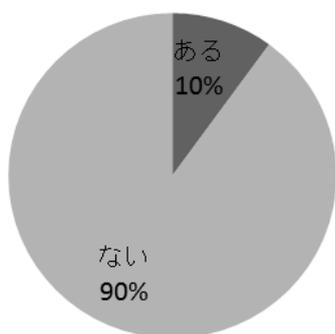
g) 身近な相手に相談できるようになった。



n=4754

子どもの教育に関して、学習に参加しての効果はあると回答している保護者が多い。学校が企画する保護者向けの学習機会がもっと有効に機能するように、内容や方法を工夫する必要があるとも思われる。また、さらに効果を上げるためにも、学校が積極的に関わっていくことが重要である。

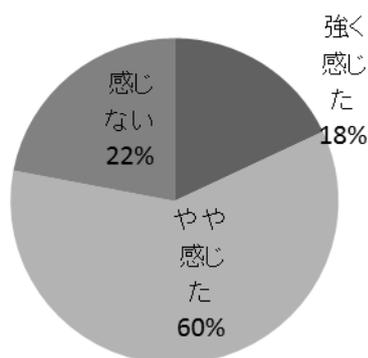
問15 あなたは、NPOや民間企業が開催する学習会等に参加したことがありますか。該当項目に☑をつけてください。



n=7062

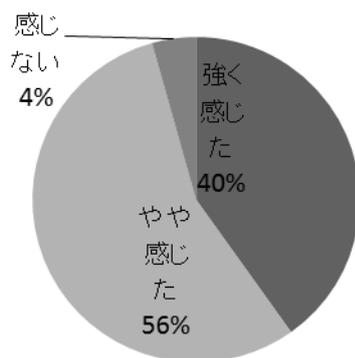
問16 あなたは問15の学習会等に参加して、どのような効果を感じましたか。「強く感じた」、「やや感じた」、「感じない」の該当項目に☑をつけてください。

a) 悩みや不安、孤立感がなくなった。



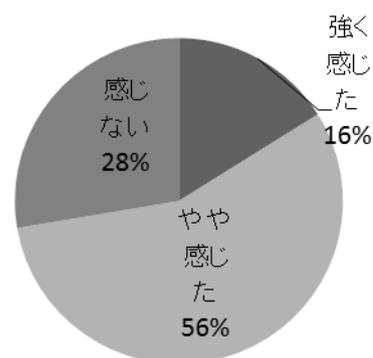
n=685

b) 必要な知識や意欲をえられた。



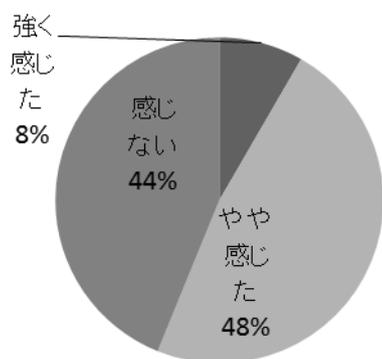
n=691

c) 家族で協力しながらできるようになった。



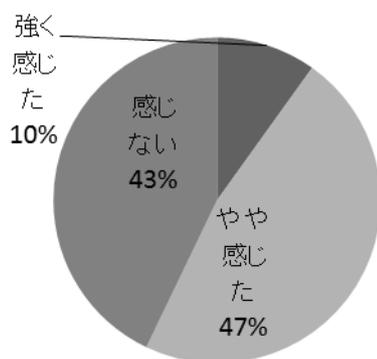
n=683

d) 学校と協力しながらできるようになった。



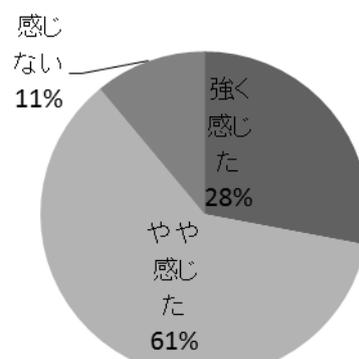
n=684

e) 地域とつながりを持ちながらできるようになった。



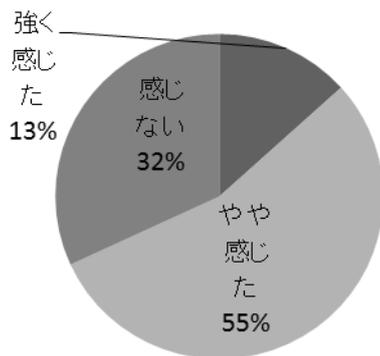
n=683

f) 必要な情報を入手できるようになった。



n=687

g) 身近な相手に相談できる
ようになった。



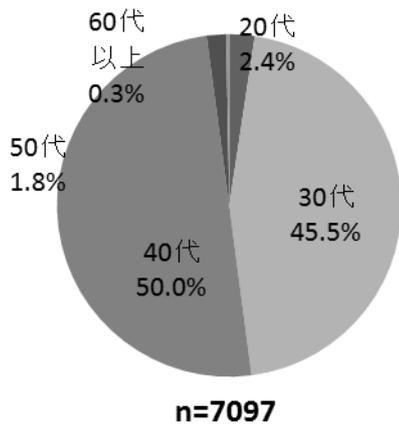
n=681

自分で学習テーマを決め、自発的に参加しているため、これだけの効果が上がるのは当然である。

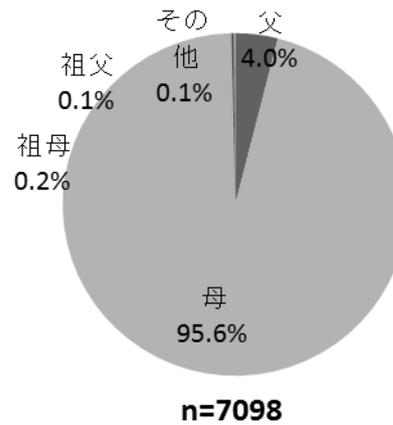
問7で「家庭教育学級」の学習会に参加した効果を聞いているが、『強く感じた』と『やや感じた』の合計の割合は、各項目を平均すると約69%、7割くらいの方が効果を感じている。

一方、「NPOや民間」の学習会等で効果を感じた割合の平均値は約74%で、だいたい7割と変わらない。自分で進んで学習に参加し、7割くらいしかないというのでは逆に少なく思われ、「家庭教育学級」に参加することがNPOや民間企業の学習会と同じような学習効果が得られていると思われる。

A) 平成25年4月1日現在あなたの年齢を教えてください。



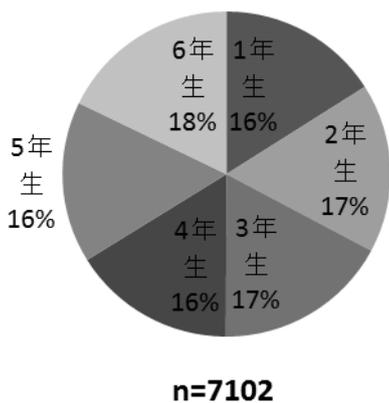
B) 児童から見ての続柄を教えてください。



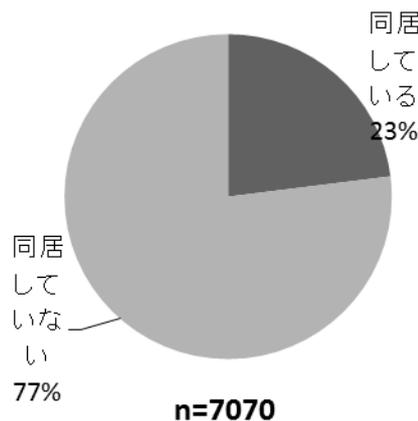
C) あなたは小学生のお子様を何人お持ちですか。

平均 1.56人
n=7073

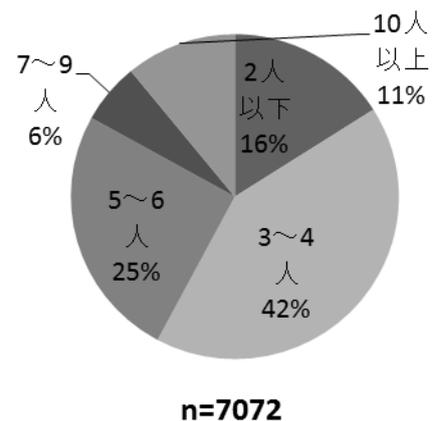
D) このアンケートをお持ちになったお子様は、現在の何年生ですか。



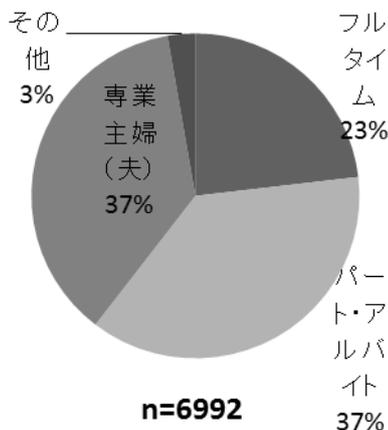
E) あなたは、ご自身あるいは配偶者の親と同居していますか



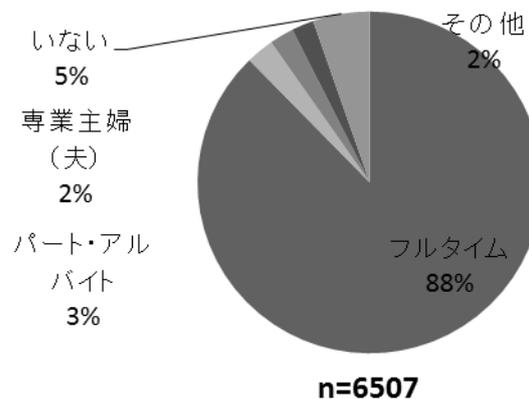
F) あなたは、子どもの教育に関して気軽に相談できる友人・知人を何人くらいお持ちですか。



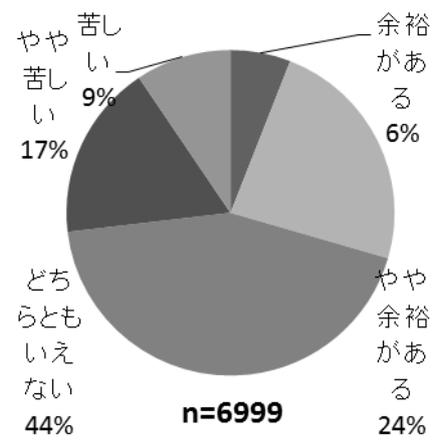
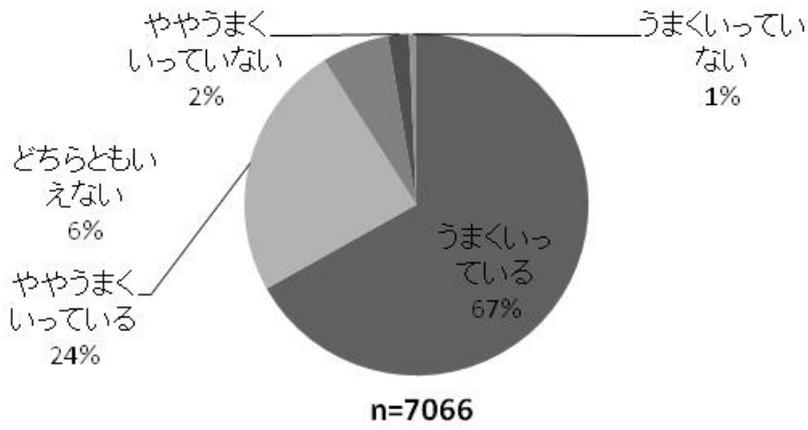
G) あなたの家庭の働き方は、次のいずれに当てはまりますか。※本人



※配偶者



H) 親子関係について、差し支えなければ教えてください。 I) 経済状態について、差し支えなければ教えてください。

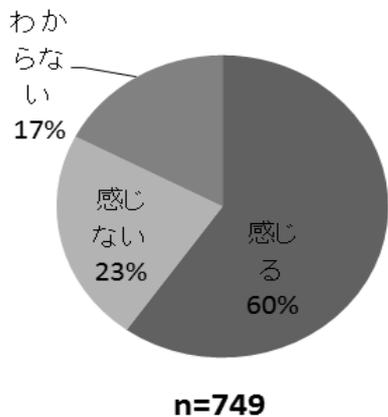


平成25年度「家庭教育支援等に関する調査」【教員用】集計結果

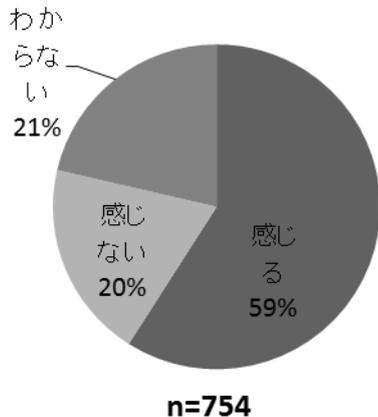
◇有効回答数：787（※グラフの<n=>は設問ごとの有効回答数）

問1 あなたは受け持っている児童の保護者の意識を、どのように感じていますか。

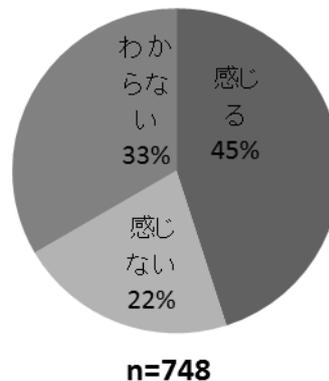
a) 子どもの教育に関する悩みや不安、孤立感がある



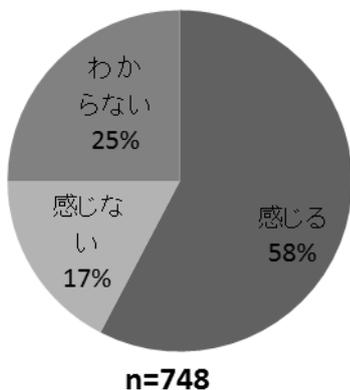
b) 子どもの教育に関する知識や意欲が高い



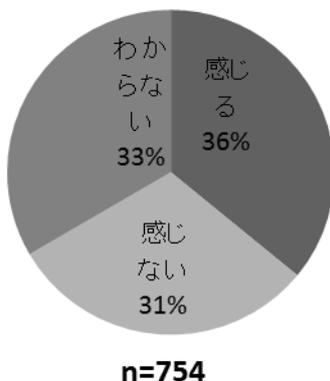
c) 家族で協力しながら子どもの教育ができている



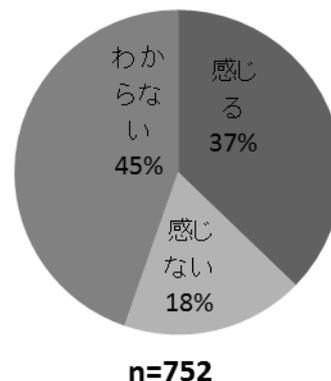
d) 学校と協力しながら子どもの教育ができている



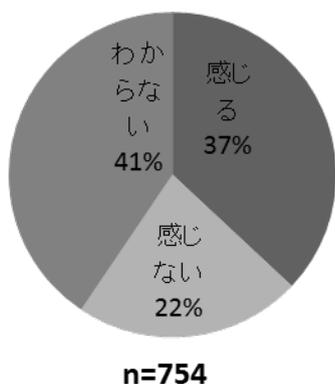
e) 地域とつながりながら子どもの教育ができている



f) 子どもの教育に関して必要な情報を入手できている



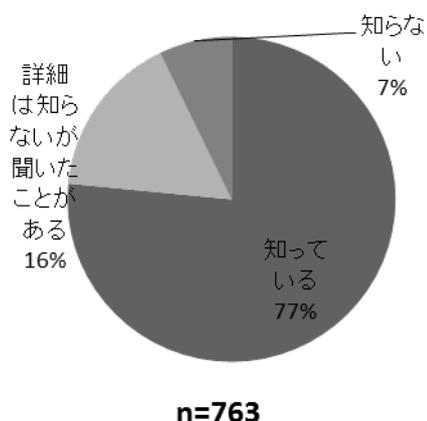
g) 子どもの教育に関して身近な相手と相談できている



a の回答をみると教員の見方と保護者の感じ方に大きなギャップがみられる。教員は、家庭教育に対する物足りなさがあるのではないか。

f の「必要な情報が入手できている」かが『わからない』と回答した教員が 45%いる。少なくとも年に数回行われる保護者会や個人面談、あるいは家庭訪問等で、直接教育情報を親に提示することはできるし、毎月発行している学校だより、学年だより、保健・給食だより等でも同様である。

問2 あなたは、自校で家庭教育学級が開催されていることを知っていますか

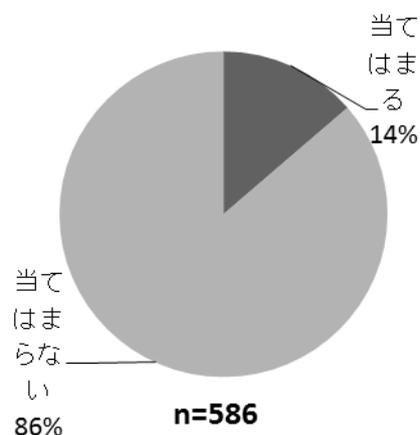
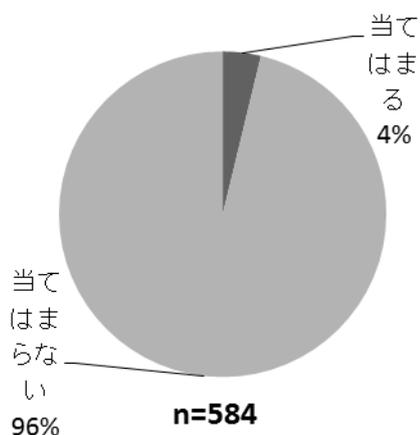
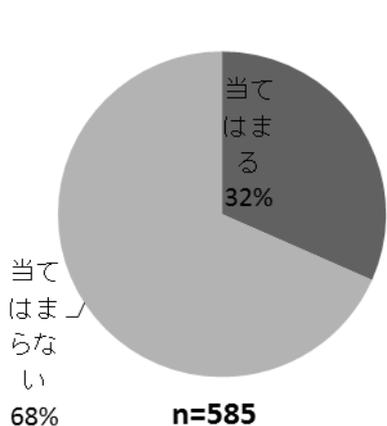


問3 問2で「知っている」と回答した方は、保護者への家庭教育学級の周知はどのようにしていますか。次の当てはまる項目すべてに☑をつけてください。

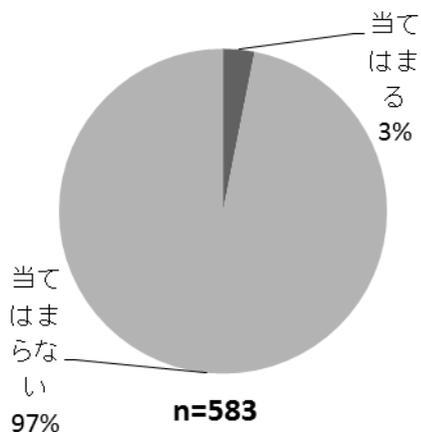
a) 入学式・入学説明会

b) 授業参観

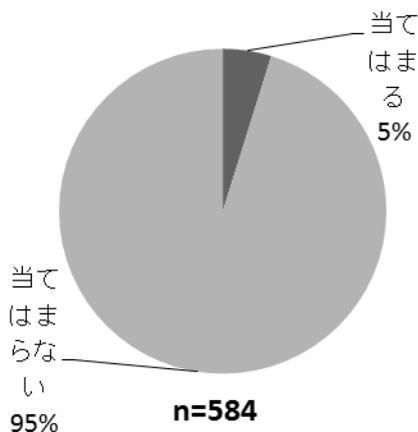
c) 学級懇談会



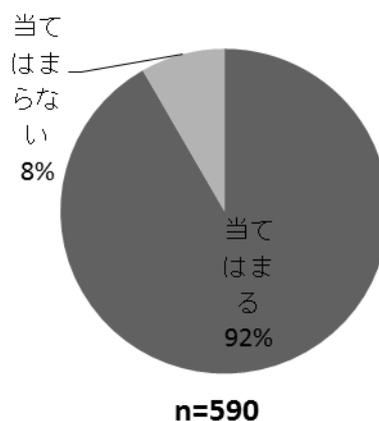
d) 個人面談



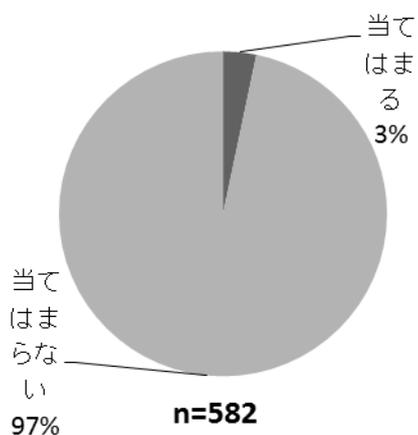
e) 教育相談



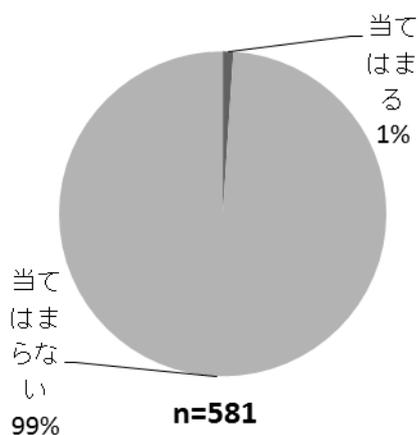
f) 配布する印刷物



g) その他



h) 実施していない



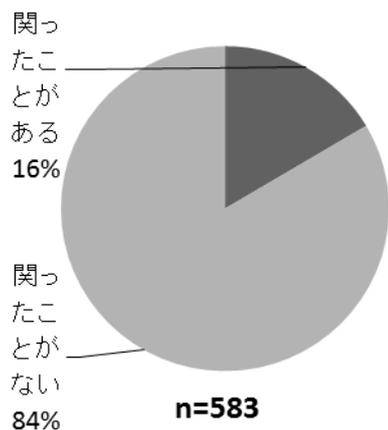
※問3 その他回答者

- ・PTA 総会… 7人
- ・保護者全体会… 2人
- ・ホームページ… 1人
- ・掲示物あり… 1人
- ・校内に掲示コーナーを設置している… 1人
- ・学校便り… 1人

教員による周知は、印刷物によるものが多い。このことから公民館においても年度初め等、必要に応じて保護者に周知しなければならない。

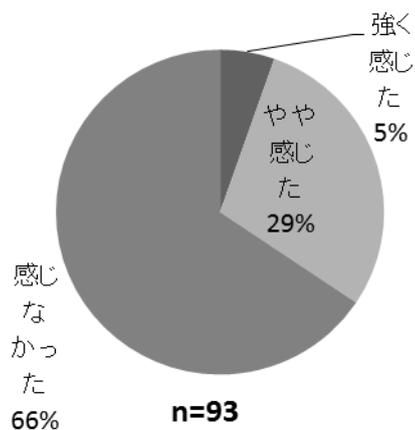
後の回答で明らかのように、教員としても家庭教育学級の効果を認めているのだから、より積極的な協力を求めていくべきである。

問4 問2で「知っている」と回答した方の内、あなたは家庭教育学級に関わったことがありますか。



学習会が行われるのは授業時間中なので、学校の中で関われる教員は、校長・教頭・担任外（教務主任・養護教諭・栄養士など）などである。

問5 問4で「関わったことがある」と回答した方で、家庭教育学級の実施を負担と感じましたか。



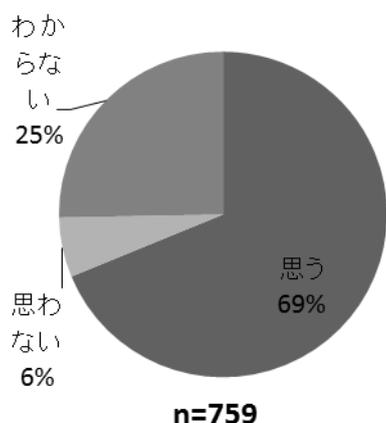
問6 問5で「強く・やや感じた」と回答した方は、負担と感じる内容を教えてください。

- ・それぞれの都合があり、時間がうまくとれない… 4人
- ・講話をしてほしいと言われ、事前準備に時間がかかった… 3人
- ・自分が保護者の前で話することになったから… 2人
- ・講師として準備や日程調整に時間を使ったが自分自身としても勉強になったのでやや感じた… 2人

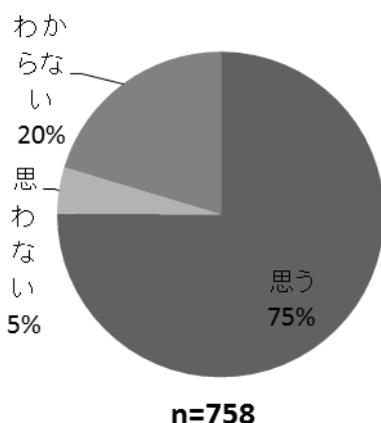
- ・学校施設を使うため、教育活動の制約が生じる… 2人
- ・事務処理や調整… 2人
- ・学校の仕事以外での仕事が増える… 2人
- ・良い企画でも広がっていかない… 1人
- ・一人一人と面談をして個人によってかかえている問題の理解度が違う… 1人
- ・家庭教の実施内容について適切なアドバイスが十分に出来なかったから… 1人
- ・話をすることになり1年目だったので内容に苦慮した… 1人
- ・前任校で、「外国語活動について」のテーマで講師役を務めた。通常の仕事しながらだったので、大変だった… 1人
- ・資料の準備、その場での質問への回答… 1人
- ・配布物や返却物のやりとりが多い… 1人
- ・役員になった方が大変そうでした… 1人
- ・日中仕事を休まなければならない… 1人
- ・家庭教育学級での役員などの分担、苦手な親との付き合い… 1人
- ・平日に行われるので働いている保護者が参加しづらい… 1人
- ・効果的な内容のように感じなかった。そのため、負担というより改善点があると思った… 1人

問7 家庭教育学級の実施で、子どもの教育に関する保護者の意識は改善できると思いますか。

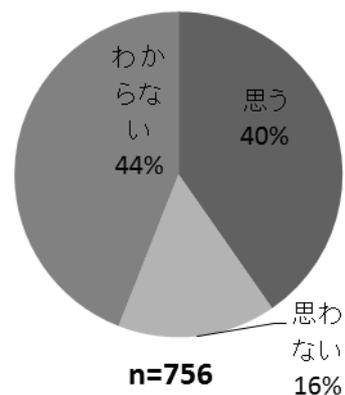
a) 悩みや不安、孤立感



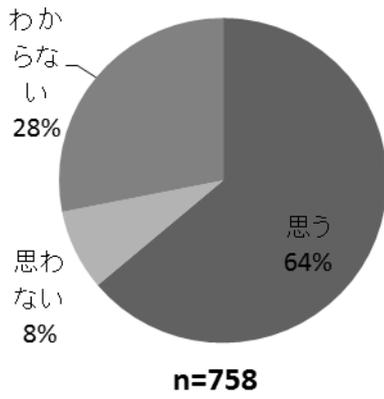
b) 知識や意欲



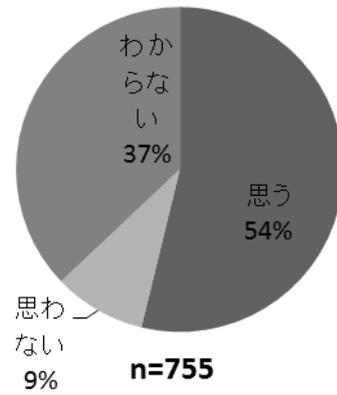
c) 家族間での協力



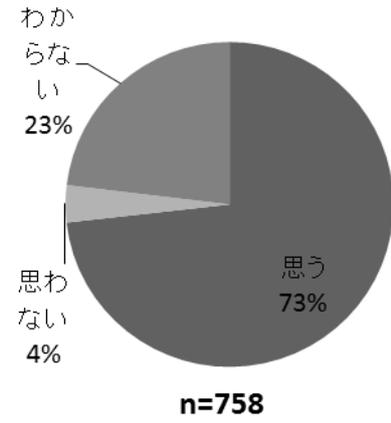
d) 学校との協力関係



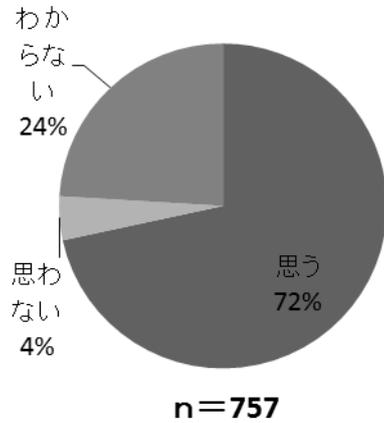
e) 地域との連携



f) 必要な情報の入手や利用



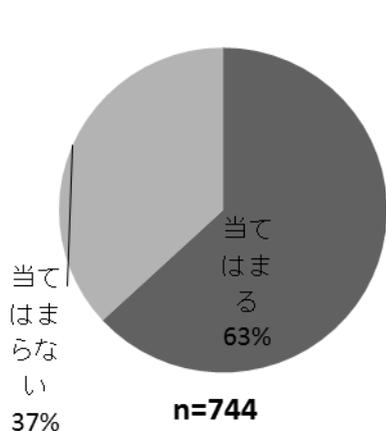
g) 身近な相手と相談する環境



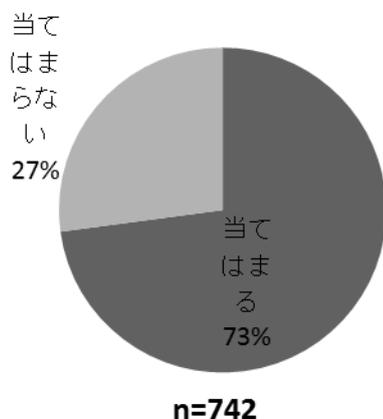
教員も家庭教育学級を開催することで、色々なことが改善できることを期待している。効果があることは実感しているが、協力にはいたっていない状況である。

問8 あなたは家庭教育学級以外の次の項目で、保護者に対する家庭教育支援策を必要だと感じますか。

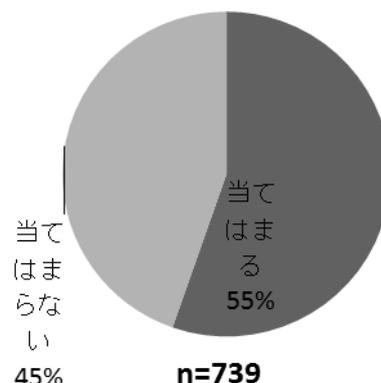
a) 学校が主催する子どもの教育に関する個別相談、学習会など



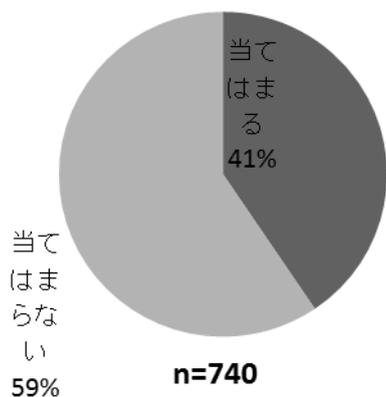
b) PTAや保護者会などによる、子どもの教育に関する学びや交流機会など



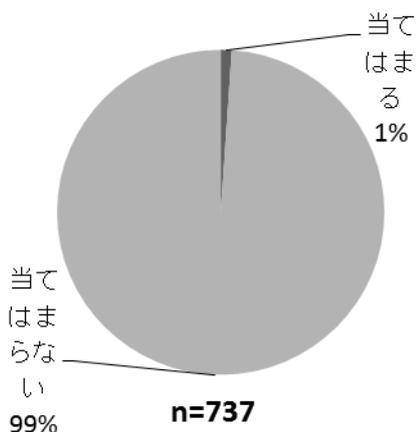
c) 公民館など市役所が行う、子どもの教育に関する学習会や交流機会など



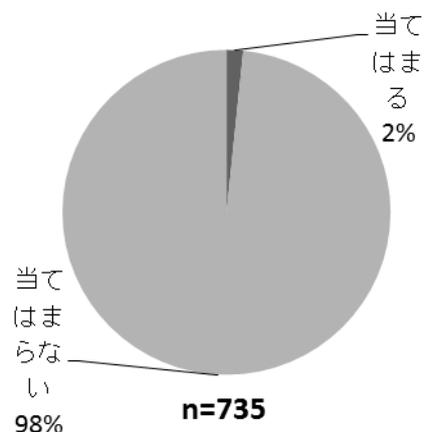
d) NPOや民間企業が行う、子どもの教育に関する学習会や交流機会など



e) その他



f) 必要でない

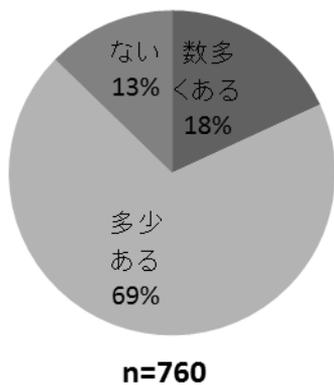


※問8 その他回答者

- ・公の相談に出ていかない人がより多く悩みを抱えている気がする…2人
- ・地域ぐるみの交流…1人
- ・学校200日解放、学校目安箱…1人
- ・保護者としての在り方を問うような講演を保護者向けに…1人

家庭教育支援策は必要だと感じている教員が多い。学校が主催する個別相談や学習会の必要性を認めるとともに、行政等の公的なサポートがあればより効果が上がると感じている。

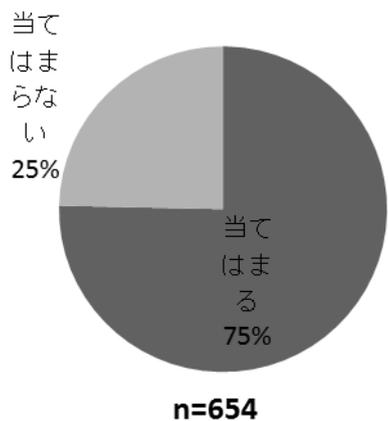
問9 あなたは保護者から家庭での教育について相談を受けたことがありますか。



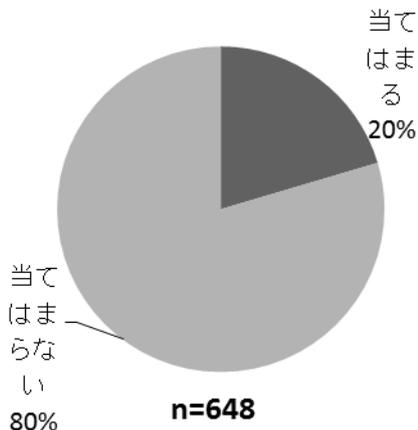
受けたことがある割合（『数多くある』と『多少ある』の合計）は、87%である。ほとんどの教員が家庭教育について相談を受けている。

問10 問9「数多くある」、「多少ある」と回答した方にお聞きします。どのような相談内容でしたか。次の当てはまる項目にすべて☑をつけてください。

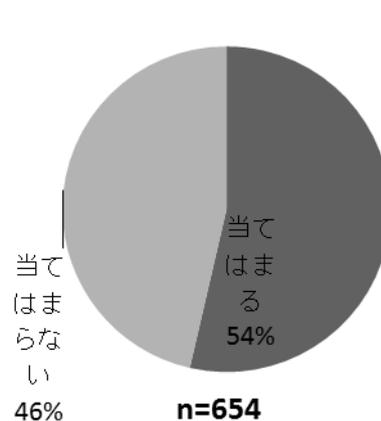
a) 学力・体力



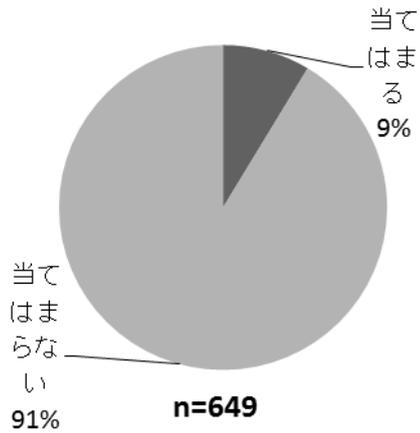
b) 健康



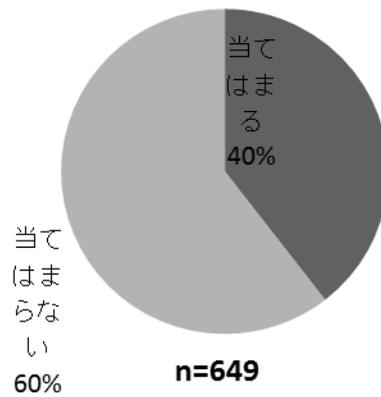
c) しつけ



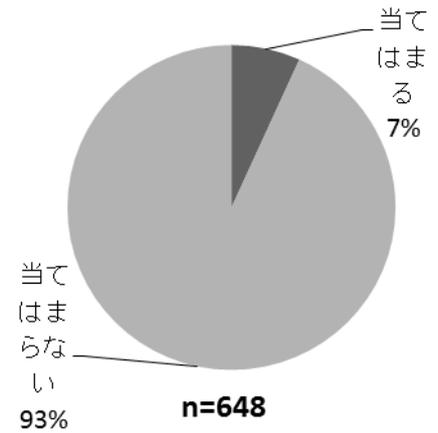
d) 子どもの暴力



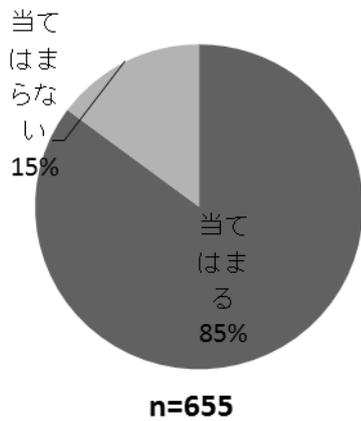
e) 不登校



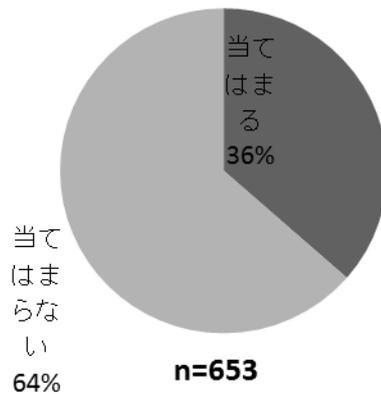
f) 非行



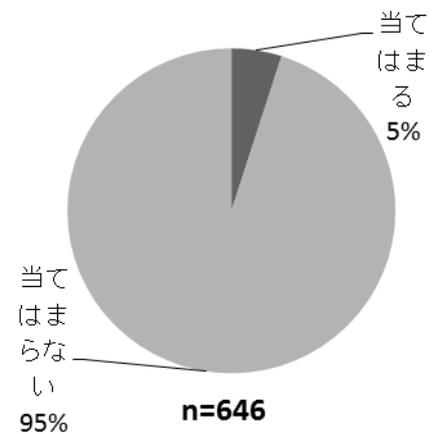
g) 友達関係 (遊び・いじめなど)



h) 子どもが学校生活になじめない



i) その他



※問 10 その他回答者

- ・ 家族間の人間関係… 6 人
- ・ 特別支援… 2 人
- ・ 保護者同士の関係づくり… 2 人
- ・ 育児… 2 人
- ・ 宿題をやらないのでどうしたらよいでしょうかという相談… 1 人
- ・ 学習について… 1 人
- ・ 父親の教育への無関心… 1 人
- ・ 休みの過ごし方・遊び方について… 1 人
- ・ 保護者（親）としてどう対応していったら良いか。迷いがあればよく話すこと即担任やその他の方に相談することが子どもにより影響を与えること… 1 人
- ・ 親の暴力… 1 人
- ・ 発達につて… 1 人

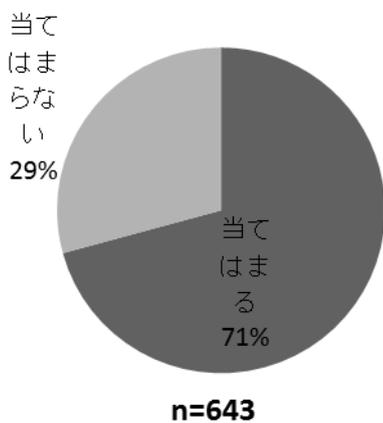
- ・偏食について1人
- ・友達ができない…1人
- ・母親のうつ病。友だちの親同士の関係…1人
- ・言葉使い、反抗…1人
- ・子どもの抱えている問題…我が子をどう理解していったらよいか…1人
- ・発達の遅れ、学習の遅れ、表現力など…1人
- ・忘れ物…1人
- ・子供が死を意識して、不安定な状況になったとき…1人
- ・親の体罰…1人
- ・金銭的なこと。校納金について等…1人
- ・担任への不満…1人
- ・精神的な不安…1人

保護者への調査、問2の関心のあることと同様の結果である。a「学力・体力」75%、g「友達関係」85%など。

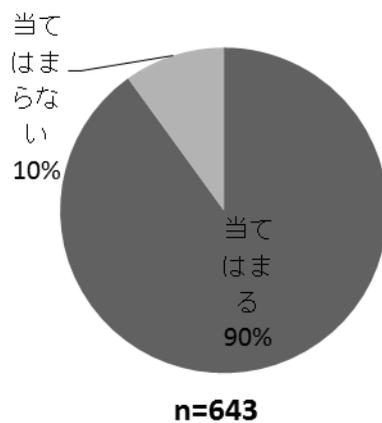
ただi「その他」の記述から、学校に持ち込まれる相談の内容の多様性が伺える。

問11 問9で「数多くある」、「多少ある」と回答した方は、次のどのような対応をしましたか。当てはまる項目すべてに☑をつけてください。

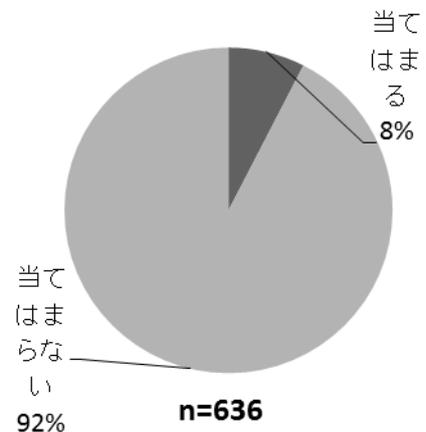
a) 自分で解決した



b) 上司や同僚に相談した

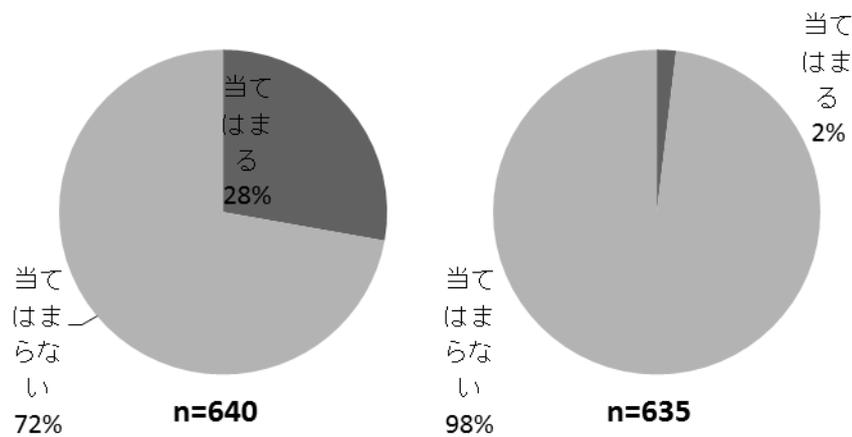


c) 教育委員会や市役所に相談した



d) 専門家（専門機関）に相談した

e) その他

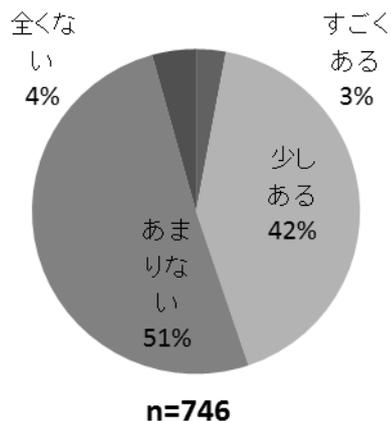


※問 11 その他回答者

- ・ 専門機関を紹介した。行った人と行かない人がいた… 1 人
- ・ 校内の特別支援コーディネーターに相談… 1 人
- ・ 先生方に相談し、教えていただいた専門機関を保護者に紹介しその後、家庭から専門機関に相談した… 1 人
- ・ 保護者の話を真摯に聞くことで、一緒に解決するよう努力した… 1 人
- ・ 学年で対応した… 1 人
- ・ 研修に参加した… 1 人
- ・ 親友に相談… 1 人
- ・ 担当が通級指導教室（情緒）なので、当然対応する必要があります… 1 人
- ・ 専門書を読んで勉強するなどして理論学習してから答えた… 1 人
- ・ 特別支援員に助けてもらった… 1 人
- ・ SC… 1 人
- ・ 本やインターネットも参考にした… 1 人
- ・ 医療機関を紹介した… 1 人

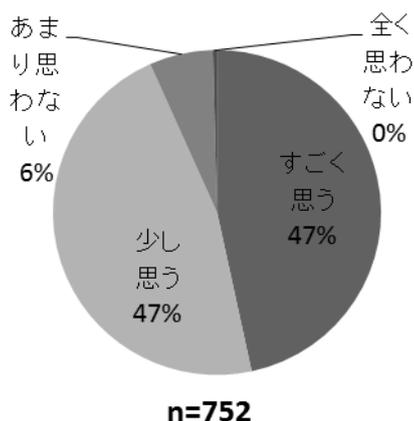
担任から上司・同僚に相談というルートをとっているという点からも学校組織としての体制が整っていると感じられる。

問 1 2 保護者の家庭教育に関する相談について、あなたはその知識や対応に自信がありますか。



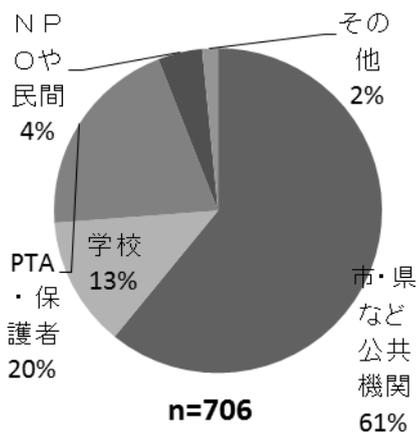
『あまりない』、『全くない』と回答した教員は55%いるが、それは年齢が若く、経験の少ない教員が増えているためなのか、または単純に知識に対する自信がないと感じているのだろうか。

問 1 3 あなたは保護者の家庭教育に関する相談に対応する教員を、支援する体制が必要だと思いますか。



94%の人が『すごく思う』、『少し思う』ということは、学校の先生方は何らかの支援を求めているということが如実に出ている。

問 1 4 家庭教育支援策は、誰（どの機関）が主に取組むべきだと思いますか。



学校の中で解決できる内容には限界があるので、今後も引き続き公共機関による支援策は必要である。

問 1 5 問 1 4 で答えた理由を教えてください。

〔市・県など公共機関 回答者〕

学校に余裕がなく、学校のみで担うには無理がある

- ・学校に余裕がなく、学校のみで担うには無理がある… 61人
- ・学力など本来は学校が対応すべきであるがこのところ問題が複雑化し学校だけでは対応ができなくなっているから… 5人
- ・学校側の仕事負担軽減… 5人
- ・学校が身近でいいが、そこまで手が回らない。市などでやってもらおうと信頼性もあってよい… 1人
- ・学校での指導とまた別だから… 1人

専門家の配置や情報を集めることができるから

- ・第三者・専門知識を持った人が取り組んで下さる方が違った角度からの見方が出来るから… 14人
- ・専門の相談機関が一番適切な対応ができると思うし必要だと思う… 12人
- ・公共機関のほうが専門家を配置できると思うので… 10人
- ・専門知識を持った方が、保護者の方だけではなく、教師も含め教育全般にわたってカウンセリングしてくれる機関がいいと思うので… 5人
- ・公共機関が先頭だって推進してくれたほうが良い。学校単位では責任が重過ぎる感がある。専門性という点でもよいと思う… 3人
- ・専門家の配置や情報を集めることができるから… 2人
- ・学校では情報収集を専門の機関につなげるのが精一杯。アドバイザー等の支援が望ましいと思ったので… 1人

予算・人員関係

- ・費用、人脈の広さから考え、主として取り組んでほしい… 4人

- ・家庭教育支援を上手く行う為には資金労力共に必要となる為… 2人
- ・学校、保護者の立場がちがうところから教育を考えた時にすれ違ってしまう場合があり、より客観的な立場から子ども観や教育観を考えられるから。それなりに費用がかかることもあるから… 1人
- ・予算が確保されているから… 1人

身近で相談できるから・学校以外の支援が必要

- ・身近で相談できるから・学校以外の支援が必要… 3人
- ・学校外からいってもらわないと進展しない。学校から保護者への指導はその後の関係を考えるとできない… 3人
- ・きちんとした公的な機関での援助は、当然のことである。一番安心して相談できると思う… 3人
- ・学校以外の場も必要だと思うから。学校が全てでは世界が狭くなる… 3人
- ・教育を支えるところは地方自治体であるべき。相談員専門家カウンセラーなどきちんと対応してしっかりと支えてやりたい。自信のない親が多い… 2人
- ・公共機関だと信頼できるので… 2人
- ・身近だけれど公私の区別ができる機関が支援するのが良いと思う… 1人
- ・学校に対する思いなど、学校に言えない本音を言える場所が必要だと思うから… 1人
- ・誰でも参加できる、身近なものになると思うから… 1人

広く平等であり、実情を一番わかっているから

- ・広く公平にできると思うから… 15名
- ・幅広い支援が必要だから… 6人
- ・学校はなかなか家庭まで踏み込めないと思います。PTA 保護者は立場が同じため相談しにくいと思うので第三者の公共機関を選びました… 4人
- ・客観的に見られるところ… 3人
- ・守秘義務が成立するから。専門の機関だから… 2名
- ・家庭教育の支援は夫婦関係や金銭の問題が多く介入している為… 2人
- ・実情を一番わかっていると思うから… 1名
- ・どの家庭にも必要だから… 1人
- ・責任の所在の明確化、必要な資料の収集能力から… 1人
- ・誰よりも公平に個人情報を守られる中で、取り組むことが必要… 1人

一貫した、共通の支援が必要だから

- ・ある程度共通の支援をするべき… 2人
- ・具体的な目標やねらいに沿って実施することができると考えるから… 2人
- ・一貫した、共通の支援が必要だから… 1人
- ・個別に取り組むと学校によって差が出てしまうので、どの親も等しく支援されるべきだと思うから… 1人
- ・統一した、その場に合った支援策が必要だと思うから… 1人

社会全体で取り組むべき

- ・社会全体で取り組むべき… 5人
- ・入学前からの系統だった支援が必要だと思います。若い親を社会が支えるシステムが大切だと感じています… 3人
- ・学校と市とが協力できたらいいと思う… 2人
- ・家庭は、地域との連携が大切。子どもは家だけでは育たない。… 1人
- ・公民館や児童館が協力して下さったら地域保護者学校が一体となって子供を育てていけるのではないかと

思います… 1人

公共機関の役割は大きいと考えるから

- ・まずは公共機関であると思ったから… 6人
- ・教育という人間の根幹に関わる課題は公の支援が必要だから… 2人
- ・公共機関の役割は大きいと考えるから… 1人
- ・教育基本法で定められたから… 1人
- ・他の機関では負担が増え十分な取り組みができないと考える… 1人

〔学校 回答者〕

学校の教員だから

- ・学校で手伝える部分は行う必要がある… 2人
- ・学校は教育に貢献しなくてはいけないと思うから。… 1人
- ・学校のことを理解している職員がいい… 1人
- ・子供は学校に通っているから… 1人
- ・1つに絞るのは難しい公共機関保護者学校が連携して取り組むことが大切だと思うがその三つをコーディネートするのは学校だと思います… 1人

一番身近な存在として相談できるから

- ・保護者にとっても身近な存在だから安心してできると思う… 5人
- ・一番身近な存在として相談できるから… 2人
- ・保護者にとって身近でよりどころとなるのは学校だから公共機関に出向くのは敷居が高いのではないのでしょうか… 1人

学校と家庭との連携が必要と感じるから

- ・学校と家庭との連携が必要と感じるから… 3人
- ・教師が保護者と向きあうべきだと思うから… 1人
- ・もっと知識を深めて欲しい。一方保護者との関わりを深めて欲しい家庭は参加していない。参加していない家庭への働きかけが大切… 1人
- ・学校との共通の理解が必要だと思うから… 1人

子どものことをよく知っている。

- ・子どものことをよく知っている… 9人
- ・子どもと一番関わる… 5人
- ・子どもに関することがらが多く、すぐ対応することができる… 2人

〔PTA・保護者 回答者〕

保護者同士のほうがわかりあえるから

- ・保護者同士のほうがわかりあえるから… 9人
- ・保護者のことは保護者が一番理解できるし、横のつながりができることで解決できることが多い… 7人
- ・同じ子どもを持つ親同士のほうが、安心して（構えることなく）話をすることができるため… 3人
- ・保護者同士で困っていることについて学びあえるから… 2人
- ・同じ家庭としての立場から互いに自分の子どもを把握する機会になる… 1人
- ・保護者同士が主体的に取り組むことが望ましいと思う… 1人
- ・保護者間の相談やアドバイスの場が減っていると感じるから… 1人

家庭ですべき

- ・家庭ですべき… 5人
- ・一番身近な組織（仲間）である… 5人
- ・家庭が子どもを一番把握しているから… 3人
- ・教育の原点は保護者にあると思うから… 3人
- ・家庭に関する悩みや具体的な支援策は当事者である保護者が一番よく知っていると思うから… 2人
- ・親の責任が大きいと思うから… 1人
- ・学校からよりも保護者自身の意識改革には、当本人が動かないと何もならないと思う学校は、その企画の相談や協力者としてできたらと思う… 1人
- ・家庭でできることが多いから… 1人

PTA

- ・学校主体のものよりも PTA 保護者主体の方が参加しやすいと思うから… 1人
- ・学校と家庭の連携は密接で切り離せない。集団の一員として子どもがどう生活しているのかがわかるのが担任（学校）である、学校と関わっている PTA 保護者が一番良い… 1人
- ・PTA をもっと活用し気軽に相談できる場であってほしい… 1人
- ・子供の身近にいる PTA が主となり見守ること、支援することが、一番適切なものができると思う… 1人
- ・PTA の方々の力はすごい。影響力がある。本部の方のやる気は、他の保護者へのよい模範である… 1人

地域

- ・地域を考慮しなければならないから… 1人
- ・関わりの深い人たちや身近な人たちの支援が必要… 1人
- ・地域の問題だと思うから… 1人
- ・親同士、地域の繋がりを取り戻す必要があると思うから… 1人
- ・みんなで子ども達を育てたい… 1人
- ・何もかも学校というのはよくない。みんなでよくしていくことが連携に繋がると思う… 1人
- ・学校は現状で手一杯です。地域や社会が支える必要があると思います… 1人
- ・学校はやることが多く、これ以上の負担は無理だから… 1人

その他

- ・公的な機関が家庭でのしつけや学習について、どうこう言うべきではない。本来は「支援策」がないとまらない状況もおかしい… 1人
- ・学校からだ押し付けられるイメージがあると思う、保護者主体の方がよいと思われる… 1人
- ・保護者同士、話し合えるような関係性が希薄… 1人
- ・保護者の横のつながりが希薄に感じるので… 1人
- ・保護者に教育を知ってもらふ機会にできるかもしれないと思いました… 1人
- ・支援策はケース by ケースなので詳細を明確にし、即対応することが大切だと思うから… 1人

〔NPOや民間 回答者〕

多面的・専門的である

- ・NPO団体や民間の方が相談内容に対して専門的にアドバイス等できると思うから… 2人

- ・24時間対応、いつでもどこでも様々な対応が出来るのはNPOや民間だと思うので…1人
- ・いろいろな方法が可能だから…1人
- ・教育に関して、民間の方々の考えや知識・アイデア等に触れてもいいのではと思う…1人
- ・対象でワクにしばらく出来ない対応ができそう…1人

学校以外のほうがよい

- ・保護者は学校とは違う第三者の意見や声の方が耳を傾けやすいのでは…と思う部分もあるので…2人
- ・学校以外のほうがよい…1人
- ・学校でも保護者でもない第三者からの支援があつていいと思う…1人
- ・学校に任せるには負担が大きすぎる。民間のサービスとしてしっかり線引きをした対応が必要…1人

公共機関が行うには限界がある

- ・公共機関が行うには限界があると思うため…1人
- ・これ以上、学校や公的機関に負担をかけるべきではない…1人

その他

- ・家庭教育は生涯教育につながるので…1人
- ・市県税を使用するものではない…1人

〔その他 回答者〕

- ・カウンセラー専門家…1人
- ・特定された機関でなく、各々の機関が協力・連携するのが良い…1人
- ・一つに限らない…1人

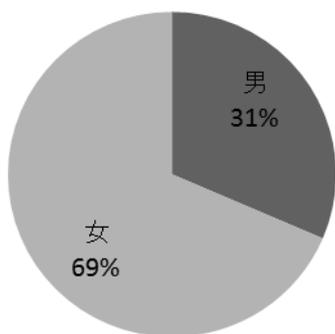
○今回の調査、またはそれに関わらず、ご意見等ありましたら記載してください。

- ・母親にとって勉強になるよい機会だと思います。ただ、関心を持ってほしいと思う人たちは来ないのでたくさんの方に参加してほしい…1人
- ・家庭教に参加している方は意識が高く家庭も落ち着いている。それ以外の保護者への支援が必要…1人
- ・教育に関心のある親が来ているので、本当に聞いてほしいのは、来ていない親だと思う。…1人
- ・本当に必要な家庭には、支援策が行き届きにくいのをどうするとよいのか…1人
- ・家庭教に参加してほしい児童の親は参加できない状況にあることが多い。その点が課題であると思う…1人
- ・母子家庭、共働き家庭等、家庭教育学級が受けられない家庭への支援を手厚くしてほしいと思います…1人
- ・せっかく開いても来るのは関心の高い親ばかりで、本当に受けてほしい人たちをどうやって取り込むかが問題…1人
- ・家庭教育学級に参加している（あるいはできる）家庭はよいが、参加できない家庭のほうが多い。そういう家庭のサポートを民生委員やその他専門機関と連携して行えるところが必要だと思う（コーディネートしてくれる機関）本当に必要な人には情報が届いていないのでは…1人
- ・仕事をもつ保護者が増え、家庭教育学級参加者がなかなか増えないのが現状、開催時期時刻など従来以上の工夫が必要かなと考えています…1人
- ・学校に批判的な方が多いので協力していく考え方を広めていただきたい…1人
- ・いつもありがとうございます。教員もがんばります…1人
- ・家庭の教育力の差が大きくなっています。せっかくの良い情報も隅々に行き渡らず熱心な人、そうでない人がまた出てきています。時には、ある程度の強制力を持った学習会、講演会も良いのかもしれない…1人
- ・家庭教育学級はPTAの任意で開催されていると思う。意欲や関心のある保護者は参加しているが、時間がない保護者は参加したくても無理なのが現状であると思う。もっと全体に呼びかける必要があると思う…1人

- ・もっともっと多数の保護者が、家庭教育学級等に参加できるとよいと思います… 1人
- ・自分たちの学習だけでなく、地域や保護者（家庭教育の）のリーダーとなって学習したことを生かしていただけたらより子どもたちのためになると思います… 1人
- ・いつもパンフレットを見ていて参加したいなと思っているが、その時間は勤務中なので無理なのが残念。… 1人
- ・家庭教育学級で企画している講演等含めて参加したいと思うこと多々ありますが何せ指導中なので参加できません。これからも保護者が参加したいと思う魅力ある企画をお願いします… 1人
- ・多くの情報機関が（学校も含む）情報を増やしても必要とする個には入れない→学校は全体の底上げに努めるしかない… 1人
- ・家族を作ること→結婚の段階、または妊婦と夫→このころの父親学級、母親学級（病院や産院でのものも含む）が大きなくさびになると思います。→学校で学ぶ（子ども）の時代以後の世代に教育する場がこれからは必要なかと思えます… 1人
- ・横のつながりで情報を共有することが大切だと考える… 1人
- ・家庭・地域の教育力が低下してきている。保護者を支援しなければいけないと思う… 1人
- ・問1など個人差がとても大きい。関心があるひとは、様々な活動に協力したり参加したりすることによりつながりも多く情報も得やすいのだろうと思う。私たちから見て必要だと思う人は保護者としての意識は低いように思う… 1人
- ・家庭教育学級への参加者がもっと多くなればと願っています… 1人
- ・どんどんやった方がよいが、学校主催のものは学校の負担が多くなるのでそれは考えないといけない… 1人
- ・松戸市に矢切地区以外にも公民館を設置し、専門的な知識や経験をもつ社会教育指導主事を配置すれば、家庭教育がさらに充実すると思います。… 1人
- ・親同士のコミュニケーションを広げる場としてよいと思います… 1人
- ・支援が必要な子ども達が多くなっている。人的支援が必要である… 1人
- ・親のしつけの仕方や子に対するお金の与え方、物の与え方、学習にかたより、自立した生活力（はさみ、のり、整理整頓、話し方、食べ方、はしの持ち方など家庭でしてきたことが今できていない）について… 1人
- ・家庭教育学級の広報活動又、参加してよかったとなるような魅力ある企画が必要であると思う。又、広く小中高などに関係する内容もあるといいと思う。親同士の交流の場も必要だと思う… 1人
- ・PTA活動で顔見知りになると、様々な情報が入り始め、独立していた保護者も元気になる。どんどん参加してほしい… 1人
- ・家庭教育学級に、担任なども参加出来るとよい良い。… 1人
- ・学校にお任せや学校が中心となってやることにはもう限界がきている。公外の人々が運営することが必要… 1人
- ・「一人ひとりの子どもを大切に育てたい」という願いは、立場が違っても同じ願いだと思うので、子どもの実態や願いに合った家庭教育学級を進められるようにみんなで意見を出し合って考えることが大切だと思います… 1人
- ・今、仕事を持っている親が多く、参加したいと思っても参加出来ない状況です。平日の午前中の会議ではなく、平日の夕方や土、日等多くの方々が参加できる工夫が必要ではないでしょうか… 1人
- ・家庭教育学級について学ぶ場があれば、学習してみたい… 1人
- ・学校もいろいろなところとつながって、連携していく必要がある。… 1人
- ・本当に必要な人の参加があるのかと思う。意識の高い人が参加して、それはそれで結構なことであるし頭も下がるが、それ以上の広がりが見られない気がする… 1人

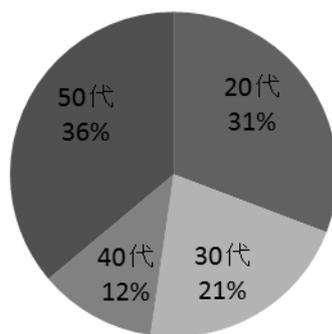
- ・サポートできる機関が包括的にできていくと良い… 1 人
- ・子ども達が抱える問題が非常に多く、重いので、保護者も児童も相談できるカウンセラーを毎日常駐させてほしい（～県が）… 1 人
- ・必要であると思うが、一方、今は色々ところで情報提供されているためか、担当者が苦勞して開催していると思われるが参加者が少ない。（とても残念だと思う）親のニーズをまずあらためて把握する必要があるのではないか。その上で、各校から地域各とか、担当者の負担軽減を考えてやっていってはどうか… 1 人
- ・家庭での教育が薄くなっているため、必要だと思う… 1 人
- ・教育に限らず色々な方面の講座が開かれていて、むしろ教育以外の講座（フラワーアレンジメント、アロマセラピー等）の方が出席が多いので、あまり学校側は手を出さない方がのびのびできると思います… 1 人
- ・今年は、教育学級の希望が多く、よいことだと思う。親の孤立感をなくすためにも大事な組織だと思う… 1 人
- ・幅広く知識を身に付けて、見聞を広めて欲しい… 1 人
- ・教師は視野が狭いので、多種の職業の方と話をする機会を持つことだと思います… 1 人
- ・家庭教育学級が単なる保護者の手作り教室やおしゃべりの会にならずに、意見交換になる機会であればよいと思う… 1 人
- ・保護者から相談を受けたものや、子どもの問題行動から面談等を行うが、積極的に取り組んでやろうとは思わない… 1 人
- ・市や県ができないところを学校という場で行うことにより、効果をあげることができると思う… 1 人
- ・家庭教育学級の良さが多くの人に十分に伝わってないのではないのでしょうか… 1 人
- ・公民館職員が地域住民への広報活動が必要なのは。保護者地域住民の悩み相談（児童・生徒の子育て等）教養等の研修講座を積極的に示してはどうか… 1 人
- ・子どもの人数が少ないことや時代の流れで子どもを守ることに必死になってしまうことが多く子どもが伸びやかに育っていかないことが日々感じられます。子育てについての会により子どもの特性を知るとはとても重要だと思います… 1 人
- ・ネットやスマホ等の知識が保護者に不十分。しかし、子どもたちはこれを媒介にして、様々な問題にまきこまれている。これらのことに関する知識が必要… 1 人
- ・私は、10年間小学校で勤めた後、10年家庭に入り、また10年今の少人数指導で復帰している。担任は保護者から相談を受けることが多いが、専門的知識以前にカウンセリングマインド（共感）を学ぶべきだと思う。自分が保護者として悩んでみて現役時代にそれが欠けていたと痛感した。子どもだけでなく保護者も惑い、悩んでいることがあまり教師はわかっていない… 1 人
- ・個にまとまりすぎる感がある。（子育て家庭）地域サークル（サッカーソフト・・・）などに子供が入っていればそのつながりがどんどん広まっていくが子ども会だけではなかなかつながりが広がったり深まったりしない。子育てで悩んだとき近くに一緒に考えてくれる人がいるといろいろなことがスムーズに解決したり思いを変えたりすることができる、家教などでつながりができた保護者は心強いであろう… 1 人

A) あなたの性別を教えてください。



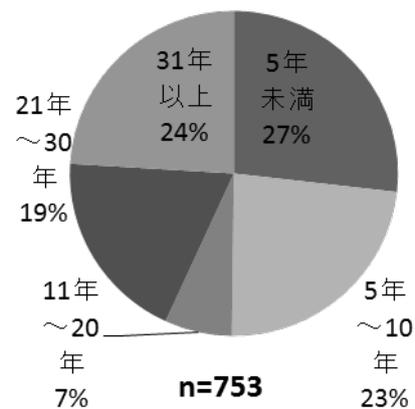
n=758

B) 平成25年4月1日現在、あなたの年齢を教えてください。



n=755

C) あなたの教員経験年数を教えてください。



n=753

まとめとして

国は、青少年非行等の社会的な問題を受けて、昭和30年代から家庭教育振興策に取り組み、昭和39年度から市町村が行う家庭教育学級への補助事業が始まりました。松戸市においても、昭和39年度から家庭教育学級の開設を進め、現在では市内の小学校全44校に開設されています。

しかしながら、世界的に経済の大きな構造転換が進行し、わが国全体が、成熟社会や人口減少社会という新しい時代への対応に直面している状況の中で、家庭や家族も変容し、多様化しています。

三世代の世帯は大きく減少し、共働き世帯が専業主婦（夫）世帯を大きく上回り続けています。また、ひとり親家庭の数が増えるとともに、日本の相対的貧困率は15.7%（平成19年）とOECD加盟国のなかでも高い水準となっています。

このような社会情勢の変化を受けて、松戸市の家庭教育支援、特に家庭教育学級のあり方については、長く議論を続けてきているところです。はじめにも述べましたが、現在の保護者の家庭の状況と支援の必要性を捉えるアンケート調査を今回、実施したわけではありますが、社会教育の枠を越えて、効果的な施策を提案するまでにはいたりませんでした。

少子化の影響から、過保護や過干渉への懸念があり、また逆に無責任な放任や育児放棄、児童虐待という事態が多発するようになっていきます。一方、進歩するメディア機器等の影響もあり、教育に関する情報は豊富すぎるほどあり、選択に困るほどの環境です。

溢れる教育情報のなかにあって、教育に関心がある親ほど、子育てに悩み、心理的に追い込まれているのかもしれない。

松戸市の家庭教育学級については、従来どおりの方法で継続することは、もとより困難になってきていることは否めません。正しくその存在と目的、効果などを広く市民の方々に知っていただくこと。また、保護者の生活状況に合わせた開設形態、学習会の開催方法等、検討すべき課題が明らかになってまいりました。今回の調査では、家庭教育学級の効果が改めて認識されましたが、さらに、家庭教育学級に参加している特定の保護者だけでなく、広く、それ以外

の保護者、市民の方々に対する家庭教育に関する意識の啓発、家庭教育支援の輪を広げる施策が重要になってきます。

委員の中から多く出された意見としては、家庭教育学級だけでなく、学校行事や個人面談等にも来られない保護者、真に困難を抱えた保護者に対する家庭教育支援策が必要ではないかというものでした。

学校現場の委員からは、普通に毎朝起こして、着替えや食事をさせて登校させることさえ困難な家庭が増えているという報告さえありました。

社会教育が行う家庭教育支援は、あくまで保護者の学習が主体です。大人の意識を変えていくことは、社会全体を変えていくことに他なりません。そのために、教育委員会の枠を越えて、母子保健、福祉、子育て部門等の市長部局との連携が必要不可欠になります。そのような組織、体制を早急に構築していただけるよう、要望させていただきます。

最後に、この調査報告のために、熱心に討議いただいた当運営審議会委員はじめ関係職員、社会教育指導員、家庭教育学級主事などの皆様のご協力にあらためて感謝の意を表します。

公民館運営審議会委員名簿

期間（平成24年6月3日から平成26年6月2日まで）

【学校教育関係者】

委員 成瀬 美重子（松戸市立幸谷小学校長）
（平成25年5月15日退任）

委員 森山 典子（松戸市立新松戸南小学校長）
（平成25年5月16日新任）

【社会教育関係者】

委員 小林 政弘（市社会教育委員）

委員 星 典子（元PTA連絡協議会会長）

委員 杉本 景子（松戸市スカウト連絡協議会会長）

【家庭教育の向上に資する活動を行うもの】

委員 勝田 房子（元家庭教育学級長）

【学識経験者】

委員長 松田 友義（千葉大学大学院教授）

副委員長 齊藤 ゆか（聖徳大学人文学部准教授）

委員 和田 律子（流通経済大学教授）

委員 山口 秀紀（日本大学松戸歯学部准教授）

委員 石田 貴士（千葉大学大学院助教）
（平成24年10月4日新任）

平成25年度「家庭教育支援等に関する調査」【保護者用】

問1 子どもの教育に関する意識についてお尋ねします。次の項目それぞれ「いる」、「いない」のいずれかに☑をつけてください。

- | | | |
|----------------------------|-----------------------------|------------------------------|
| a 子どもの教育に悩み、不安や孤立感を感じている | <input type="checkbox"/> いる | <input type="checkbox"/> いない |
| b 子どもの教育に必要な知識や意欲を有している | <input type="checkbox"/> いる | <input type="checkbox"/> いない |
| c 家族で協力しながら子どもの教育ができています | <input type="checkbox"/> いる | <input type="checkbox"/> いない |
| d 学校と協力しながら子どもの教育ができています | <input type="checkbox"/> いる | <input type="checkbox"/> いない |
| e 地域とつながりながら子どもの教育ができています | <input type="checkbox"/> いる | <input type="checkbox"/> いない |
| f 子どもの教育に関して必要な情報を入手できています | <input type="checkbox"/> いる | <input type="checkbox"/> いない |
| g 子どもの教育に関して身近な相手に相談できています | <input type="checkbox"/> いる | <input type="checkbox"/> いない |

問2 子どもの教育に対して関心のあることは次のいずれですか。次の中から3つを選び☑をつけてください。

- | | |
|-----------------------------------------|-----------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 学力向上 | <input type="checkbox"/> 体力向上 |
| <input type="checkbox"/> 健康 | <input type="checkbox"/> しつけ |
| <input type="checkbox"/> 進学 | <input type="checkbox"/> 非行 |
| <input type="checkbox"/> 友達関係(遊び・いじめなど) | <input type="checkbox"/> 子どもが学校生活になじめない |
| <input type="checkbox"/> その他 () | |

問3 子どもの教育に関する必要な知識を、どのように習得していますか。次の当てはまるものすべてに☑をつけてください。

- | | |
|---------------------------------------|------------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 学校の先生 | <input type="checkbox"/> 公共や民間の講座・セミナーなど |
| <input type="checkbox"/> 新聞記事・テレビ番組など | <input type="checkbox"/> 書籍 |
| <input type="checkbox"/> 親や親戚 | <input type="checkbox"/> 友人・知人との情報の交換 |
| <input type="checkbox"/> 特に学習していない | <input type="checkbox"/> その他 () |

問4 子どもの教育に関する相談を誰(どこ)にしますか、もしくはしようと思いませんか。次の当てはまるものすべてに☑をつけてください。

- | | |
|---------------------------------------|------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 学校の先生 | <input type="checkbox"/> 教育委員会や市役所 |
| <input type="checkbox"/> 塾や教育の専門家(機関) | <input type="checkbox"/> 配偶者 |
| <input type="checkbox"/> 親や親戚 | <input type="checkbox"/> 友人・知人 |
| <input type="checkbox"/> 特に相談しない | <input type="checkbox"/> その他 () |

問5 あなたは、保護者が主体となって子どもの教育に関する仲間づくりや学習活動を行う「小学校家庭教育学級」があることを知っていますか。

知っている→問6へ

知らない→問8へ

問6 問5で「知っている」と答えた方にお聞きします。小学校家庭教育学級に参加したことはありますか。次のいずれかひとつに☑をつけてください。

ある→問7へ

参加したいができない→問9へ

参加していない→問10へ

問11 小学校家庭教育学級では、どのような内容を学ぶことができれば参加したくなると思いますか。次の中で興味のある内容すべてに☑をつけてください。

- | | | |
|-----------------------------------------|--------------------------------------|---------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 学力向上や進学 | <input type="checkbox"/> 子どもの体力や健康 | <input type="checkbox"/> 子どものしつけや非行防止 |
| <input type="checkbox"/> 親どうしの意見交換 | <input type="checkbox"/> 悩みの相談 | <input type="checkbox"/> 親の自分力向上 |
| <input type="checkbox"/> 体験的な学習会 | <input type="checkbox"/> 親子で参加できる学習会 | <input type="checkbox"/> その他() |
| <input type="checkbox"/> 内容に関わらず参加したくない | | |

回答後 → 問13へ

問12 小学校家庭教育学級に「参加した」あるいは「参加したいができない」と回答した方全員に伺います。次の参加理由で当てはまるものすべてについて☑をつけてください。

- | | |
|--------------------------------------------|------------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 学習が好き | <input type="checkbox"/> 保護者同士のつながりが欲しい |
| <input type="checkbox"/> 異学年を持つ保護者との交流がしたい | <input type="checkbox"/> 教育に関する情報が入手できそう |
| <input type="checkbox"/> 必要に迫られて | <input type="checkbox"/> その他() |

回答後 → 問13へ

問13 あなたは、学校が開催する学習会(個人面談・教育相談を含む)等に参加したことがありますか。該当項目に☑をつけてください。

ある → 問14へ

ない → 問15へ

問14 あなたは問13の学習会等に参加して、どのような効果を感じましたか。「強く感じた」、「やや感じた」、「感じない」の該当項目に☑をつけてください。

- | | | | |
|---------------------------|--------------------------------|--------------------------------|-------------------------------|
| a 悩みや不安、孤立感がなくなった。 | <input type="checkbox"/> 強く感じた | <input type="checkbox"/> やや感じた | <input type="checkbox"/> 感じない |
| b 必要な知識や意欲をえられた。 | <input type="checkbox"/> 強く感じた | <input type="checkbox"/> やや感じた | <input type="checkbox"/> 感じない |
| c 家族で協力しながらできるようになった。 | <input type="checkbox"/> 強く感じた | <input type="checkbox"/> やや感じた | <input type="checkbox"/> 感じない |
| d 学校と協力しながらできるようになった。 | <input type="checkbox"/> 強く感じた | <input type="checkbox"/> やや感じた | <input type="checkbox"/> 感じない |
| e 地域とつながりを持ちながらできるようになった。 | <input type="checkbox"/> 強く感じた | <input type="checkbox"/> やや感じた | <input type="checkbox"/> 感じない |
| f 必要な情報を入手できるようになった。 | <input type="checkbox"/> 強く感じた | <input type="checkbox"/> やや感じた | <input type="checkbox"/> 感じない |
| g 身近な相手に相談できるようになった。 | <input type="checkbox"/> 強く感じた | <input type="checkbox"/> やや感じた | <input type="checkbox"/> 感じない |

回答後 → 問15へ

問15 あなたは、NPOや民間企業が開催する学習会等に参加したことがありますか。該当項目に☑をつけてください。

ある → 問16へ

ない → 次ページへ

問16 あなたは問15の学習会等に参加して、どのような効果を感じましたか。「強く感じた」、「やや感じた」、「感じない」の該当項目に☑をつけてください。

- | | | | |
|---------------------------|--------------------------------|--------------------------------|-------------------------------|
| a 悩みや不安、孤立感がなくなった。 | <input type="checkbox"/> 強く感じた | <input type="checkbox"/> やや感じた | <input type="checkbox"/> 感じない |
| b 必要な知識や意欲をえられた。 | <input type="checkbox"/> 強く感じた | <input type="checkbox"/> やや感じた | <input type="checkbox"/> 感じない |
| c 家族で協力しながらできるようになった。 | <input type="checkbox"/> 強く感じた | <input type="checkbox"/> やや感じた | <input type="checkbox"/> 感じない |
| d 学校と協力しながらできるようになった。 | <input type="checkbox"/> 強く感じた | <input type="checkbox"/> やや感じた | <input type="checkbox"/> 感じない |
| e 地域とつながりを持ちながらできるようになった。 | <input type="checkbox"/> 強く感じた | <input type="checkbox"/> やや感じた | <input type="checkbox"/> 感じない |
| f 必要な情報を入手できるようになった。 | <input type="checkbox"/> 強く感じた | <input type="checkbox"/> やや感じた | <input type="checkbox"/> 感じない |
| g 身近な相手に相談できるようになった。 | <input type="checkbox"/> 強く感じた | <input type="checkbox"/> やや感じた | <input type="checkbox"/> 感じない |

ご回答いただく方の属性に関するご質問です。(全員回答)

データはすべて統計的に処理されますので、以下の個人情報が外部に漏れることは一切ございません。また、データにつきましては、個人情報保護法に基づき、厳重に管理させていただくこととお約束いたします。

- A) 平成25年4月1日現在あなたの年齢を教えてください。
20代 30代 40代 50代 60代以上
- B) 児童から見ての続柄を教えてください。
父 母 祖父 祖母 その他()
- C) あなたは小学生のお子様を何人お持ちですか。()内に記入してください。
()人
- D) このアンケートをお持ちになったお子様は、現在の何年生ですか。
1年生 2年生 3年生 4年生 5年生 6年生
- E) あなたは、ご自身あるいは配偶者の親と同居していますか。
同居している 同居していない
- F) あなたは、子どもの教育に関して気軽に相談できる友人・知人を何人くらいお持ちですか。
2人以下 3~4人 5~6人 7~9人 10人以上
- G) あなたの家庭の働き方は、次のいずれに当てはまりますか。その他と回答された方は、()内にその内容を記入してください。
本人 フルタイム パート・アルバイト 専業主婦(夫) その他()
配偶者 フルタイム パート・アルバイト 専業主婦(夫) その他() いない
- H) 親子関係について、差し支えなければ教えてください。
うまくいっている ややうまくいっている どちらともいえない
ややうまくいっていない うまくいっていない
- I) 経済状態について、差し支えなければ教えてください。
余裕がある やや余裕がある どちらともいえない やや苦しい 苦しい

以上で調査は終わりです。ご協力ありがとうございました。

問7 家庭教育学級の実施で、子どもの教育に関する保護者の意識は改善できると思いますか。次の項目それぞれに「思う、思わない、わからない」で回答してください。

- | | | | |
|----------------|-----------------------------|-------------------------------|--------------------------------|
| a 悩みや不安、孤立感 | <input type="checkbox"/> 思う | <input type="checkbox"/> 思わない | <input type="checkbox"/> わからない |
| b 知識や意欲 | <input type="checkbox"/> 思う | <input type="checkbox"/> 思わない | <input type="checkbox"/> わからない |
| c 家族間での協力 | <input type="checkbox"/> 思う | <input type="checkbox"/> 思わない | <input type="checkbox"/> わからない |
| d 学校との協力関係 | <input type="checkbox"/> 思う | <input type="checkbox"/> 思わない | <input type="checkbox"/> わからない |
| e 地域との連携 | <input type="checkbox"/> 思う | <input type="checkbox"/> 思わない | <input type="checkbox"/> わからない |
| f 必要な情報の入手や利用 | <input type="checkbox"/> 思う | <input type="checkbox"/> 思わない | <input type="checkbox"/> わからない |
| g 身近な相手と相談する環境 | <input type="checkbox"/> 思う | <input type="checkbox"/> 思わない | <input type="checkbox"/> わからない |

問8 あなたは家庭教育学級以外の次の項目で、保護者に対する家庭教育支援策を必要だと感じますか。当てはまる項目すべてに☑をつけてください。

- 学校が主催する子どもの教育に関する個別相談、学習会など
PTAや保護者会などによる、子どもの教育に関する学びや交流機会など
公民館など市役所が行う、子どもの教育に関する学習会や交流機会など
NPOや民間企業が行う、子どもの教育に関する学習会や交流機会など
その他 (取組み:)
必要でない

問9 あなたは保護者から家庭での教育について相談を受けことがありますか。「数多くある、多少ある、ない」のいずれかに☑をつけてください。

- 数多くある→問10へ 多少ある→問10へ ない→問12へ

問10 問9で「数多くある」、「多少ある」と回答した方にお聞きします。どのような相談内容でしたか。次の当てはまる項目にすべて☑をつけてください。

- | | |
|-----------------------------------------|-----------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 学力・体力 | <input type="checkbox"/> 健康 |
| <input type="checkbox"/> しつけ | <input type="checkbox"/> 子どもの暴力 |
| <input type="checkbox"/> 不登校 | <input type="checkbox"/> 非行 |
| <input type="checkbox"/> 友達関係(遊び・いじめなど) | <input type="checkbox"/> 子どもが学校生活になじめない |
| <input type="checkbox"/> その他 () | |

問11 問9で「数多くある」、「多少ある」と回答した方は、次のどのような対応をしましたか。当てはまる項目すべてに☑をつけてください。

- 自分で解決した
上司や同僚に相談した
教育委員会や市役所に相談した
専門家(専門機関)に相談した
その他()

問12 保護者の家庭教育に関する相談について、あなたはその知識や対応に自信がありますか。「すごくある」、「少しある」、「あまりない」、「全くない」のいずれかに☑をつけてください。

- すごくある 少しある あまりない 全くない

